

(様式第10)

東北病医 番 386 号  
平成28年10月 5日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

東北大学病院長  
八重樫 伸生

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院
--------

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 電話(022)717-7000
---

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 内科 2 腎臓・内分泌内科 3 血液内科 4 リウマチ科 5 糖尿病・代謝内科 6 漢方内科 7 腫瘍内科 8 循環器内科 9 感染症内科 10 老年内科 11 呼吸器内科 12 消化器内科 13 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。



(2) 外科

外科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 肝臓・胆のう・膵臓外科 2 胃腸外科 3 移植・食道・血管外科 4 乳腺・内分泌外科 5 心臓血管外科 6 呼吸器外科 7 小児外科 8 小児腫瘍外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科	<input checked="" type="radio"/> 2小児科	<input checked="" type="radio"/> 3整形外科	<input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="radio"/> 5皮膚科	<input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科	<input checked="" type="radio"/> 7産婦人科
8産科	9婦人科	<input checked="" type="radio"/> 10眼科	<input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	<input checked="" type="radio"/> 12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		<input checked="" type="radio"/> 15麻酔科	<input checked="" type="radio"/> 16救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科 2 歯科口腔外科 3 小児歯科 4 矯正歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科	5 頭頸部外科
--------	--------	--------------	---------	---------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	床	床	1183床	1225床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	388人	161人	542.3人	看護補助者	127人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	88人	76人	157.4人	理学療法士	25人	臨床検査技師	118人
薬剤師	88人	0人	88人	作業療法士	8人	衛生検査技師	3人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	13人	その他	0人
助産師	58人	3人	59.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,158人	32人	1,181.5人	臨床工学士	24人	医療社会事業従事者	29人
准看護師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	130人
歯科衛生士	7人	18人	24.5人	歯科技工士	9人	事務職員	445人
管理栄養士	13人	0人	13人	診療放射線技師	67人	その他の職員	146人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	67人	眼科専門医	13人
外科専門医	82人	耳鼻咽喉科専門医	12人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	25人
小児科専門医	32人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	28人	救急科専門医	13人
		合 計	345人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(八重樫 伸生) 任命年月日 平成27年 4月 1日

医療安全担当の副病院長を平成22年4月1日から平成24年3月31日まで担当し、医療安全推進室長も兼務しており、医療安全推進室会議の議長、医療安全推進委員会の委員としても、医療に係る安全管理の業務に従事している。また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員長を担っており、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	984.6人	27.9人	1,012.5人
1日当たり平均外来患者数	2,378.5人	631.8人	3,010.3人
1日当たり平均調剤数	1,310.8剤		
必要医師数	242人		
必要歯科医師数	23人		
必要薬剤師数	34人		
必要(准)看護師数	613人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
			病 床 数	30 床	心 電 計	(有)・無
集中治療室	621.39m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 366m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 0台		病床数	25床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	342m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	348m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	60m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	6,916m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	526m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 3室	収容定員	460人	
図書室	4,476m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 4室	蔵書数	41万冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	96.8%	逆紹介率	45.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		26,101人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,903人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,302人
	D: 初診の患者の数		28,290人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
現在委員を 選定中です。				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
委員の選定理由の公表の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
公表の方法 現在委員を選定中です。	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)	2人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	3人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
LDLアフェレシス療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患(薬物療法に対して抵抗性を有するものであって、経皮的冠動脈形成術又は冠動脈バイパス手術による治療が困難なものに限る。)	2人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	1人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中樞神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	1人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	233人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	64人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは1/3、残りの2/3はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、3+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。また脳腫瘍に関しては、乏突起膠細胞腫における特異的な遺伝子変化が、組織診断の確定のみならず治療効果に関係しており、診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやパルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			



医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	124人
当該医療技術の概要 テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 <sup>90</sup> Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要 同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			

医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	131人
当該医療技術の概要			
口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置 (PAP, PLP, 顎義歯) を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	170人
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
骨格的な改善が必要な成長期症例 (例: 下顎前突) において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リングブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側 (裏側) に矯正装置 (ブラケット) を装着することにより、矯正装置が全く見えなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	514人
当該医療技術の概要			
頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、義歯の作成、開口訓練、摂食・嚥下指導を行い、口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要			
大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

医療技術名	切除可能胆管癌に対する術前化学放射線療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
切除可能胆管癌に対して、手術前に化学放射線療法を施行した後、根治切除を行うことで、根治切除率を向上させることができる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度抑えられる利点がある。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	156人
当該医療技術の概要			
甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御の治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	産後出血による経皮的塞栓術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
出産後の予期せぬ出血に対し開腹することなく低侵襲で経皮的、経カテーテル的に出血減となる血管を同定し塞栓する治療。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	250人
当該医療技術の概要			
急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要			
血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健康な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	48人
当該医療技術の概要			
エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要			
緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			

医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			
医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			
医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下胆道再建術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顕微鏡下手術(マイクロサージャリー)は微小血管再建に極めて有用な機器である。これを生体部分肝移植における微小胆管再建に導入することで、胆道合併症軽減(リーク、狭窄軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度抑えられる。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	末期重症心不全患者に対する集学的外科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 内科的薬物療法では救命できない重症心不全の患者さんに対し、植込型補助人工心臓装着(認定施設限定)、及び脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を含めた集学的外科治療を行う。			
医療技術名	胸腹部大動脈瘤手術時における多角的な脊髄保護療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術の際の重篤な合併症である脊髄梗塞による対麻痺を予防するために、術前の脊髄灌流動脈の同定、脳脊髄液ドレナージ、硬膜外腔冷却、選択的肋間動脈灌流など多角的治療を行う。			
医療技術名	成人先天性心疾患に対する集学的治療	取扱患者数	240人
当該医療技術の概要 成人期に達した先天性心疾患患者の治療を小児循環器科医、成人循環器内科医、心臓血管外科医、さらには放射線科医、産婦人科医と協働で治療にあたり、先天性心疾患患者の長期予後の改善とQOLの改善を図る。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			

医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能のため、術後早期回復に有用である。			
医療技術名	肺胞蛋白症に対する全身麻酔下全肺洗浄療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 進行した肺胞蛋白症に対する治療としての全肺洗浄を麻酔科、ときに心臓血管外科と共同で体外循環実施下で行う。この治療により、肺胞への沈着物を除去することが可能であり、呼吸不全の改善を図る。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	アルドステロン産生副腎腺腫に対するCTガイド下経皮的ラジオ波焼灼術(RF)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 CTガイド下に、RF(ラジオ波)アブレーション針にて副腎のアルドステロン産生腺腫を焼灼し、高アルドステロン血症と高血圧の低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	心臓大血管の仮性動脈瘤に対する経カテーテル的塞栓術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 心大血管に生じた仮性動脈瘤に対し、カテーテルを用いて選択的にコイル塞栓術を行い、低侵襲的根治療を行う。			
医療技術名	原発性アルドステロン症に対するγ副腎静脈分支採血法	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要 副腎静脈サンプリングは、原発性アルドステロン症の術前局在診断法として必須とされている。カテーテル技術を応用した副腎静脈分支からのサンプリングでは、従来の副腎中心静脈のみからのサンプリングで鑑別できなかった、両側性特発性副腎過形成と手術で根治する可能性のある両側性アルドステロン産生腺腫を鑑別可能であり、原発性アルドステロン症治療成績向上に寄与する検査法である。放射線科医と内分泌内科医が協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取・調整・保存)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植患者の再発やウイルス感染に対し、移植ドナーの血液を連続的に体外循環してリンパ球分画を採取する(骨髄バンクでは100ml/ドナー体重(kg)を処理量上限と定めている)。漸増投与を行う場合は、CD3陽性Tリンパ球をカウントして患者体重あたりの細胞数で分割し、同日投与分以外は凍結保存する。			
医療技術名	Convection-enhanced delivery (CED)による悪性脳腫瘍の治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 再発悪性脳腫瘍および外科的治療が困難な脳幹部悪性脳腫瘍に対して、定位的に挿入したカテーテルから抗癌剤を持続陽圧下に脳細胞間隙に局所注入し、高濃度かつ広範囲の薬剤分布を得る新規薬剤投与方法。高度の医療技術を要し、開発途上にある医療である。			
医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	76人
当該医療技術の概要 乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。			
医療技術名	経静脈的患者自己調節鎮痛法(PCA)による術後疼痛管理	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 電動式PCAポンプを用いて、術後痛を感じたときに患者自身が鎮痛薬を安全に投与する方法。			
医療技術名	血液吸着(エンドトキシン以外)	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分(エンドトキシンやビリルビン)を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。			

医療技術名	二重濾過プラスマフェレーシス(血漿製剤で置換)	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
<p>血漿分離器で血漿成分を分離後、原因物質を含む血漿分画を廃棄して、アルブミン製剤等で置き換える治療法。新鮮凍結血漿を用いる場合は輸血に関連する感染事故のリスクやフィブリノーゲンの減少などが生じるなど、総合的な治療管理の資源を要する治療である。対象は神経疾患、天疱瘡、膠原病の難治性病態を呈する各種の内科疾患、および外科系では肝不全が対象となっている。</p>			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	83人
当該医療技術の概要			
<p>がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。</p>			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
<p>腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法であり、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。</p>			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	107人
当該医療技術の概要			
<p>自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。</p>			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
<p>正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。</p>			
医療技術名	多系統萎縮症に対する鍼治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
<p>多系統萎縮症は進行性であり、従来の治療を行っていても自律神経系、歩行障害、嚥下障害などが徐々に進行する。鍼治療は自律神経系、歩行障害、嚥下障害に効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。</p>			
医療技術名	クローン病に対する鍼治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
<p>クローン病は慢性の炎症性腸疾患であり、従来の治療を行い採血上炎症反応がコントロールされていても排便障害や腹痛、血便などがコントロールされない症例もある。鍼治療は海外の報告でこれらの症状のコントロールに効果があることが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療方法である。</p>			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
<p>肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。</p>			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
<p>膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。</p>			

医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	意識下気胸手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
呼吸不全を伴う難治性気胸に対し、全身麻酔を回避した意識下による気胸手術で、海外では報告例があるが、本邦では一般化されていない。東北大学では以前から意識下気胸手術を行っており、呼吸不全を有し内科治無効で、全身麻酔手術不能といわれた症例に対し本手術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	顆粒球採取	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
造血幹細胞移植など高度な血球減少時期に細菌感染を併発し、抗生剤等の既存の対応では血球回復まで持ちこたえるのが困難な場合、健常な第三者にG-CSFを投与しアフエーシス機器にて顆粒球を採取し、放射線照射を行ったのち患者に投与する。			
医療技術名	白血球除去	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
急性白血病において末梢血中の白血病細胞が数十万/ $\mu$ Lに著増した場合、白血球塞栓や重篤な腫瘍崩壊症候群の抑制のため、アフエーシス機器を用いて白血球除去を行う。			
医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

1	疾患名	患者数	患者数	疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	9	56	ベーチェット病	157
2	筋萎縮性側索硬化症	82	57	特発性拡張型心筋症	202
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	25
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	12	60	再生不良性貧血	64
6	パーキンソン病	271	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	13	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	107
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	21
11	重症筋無力症	111	66	IgA腎症	14
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	313	68	黄色靱帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	35	69	後縦靱帯骨化症	58
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	11
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	61
17	多系統萎縮症	43	72	下垂体性ADH分泌異常症	11
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	127	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	14	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	15
21	ミトコンドリア病	12	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	201	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	181
24	亜急性硬化性全脳炎	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	5	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	342
30	遠位型ミオパチー	5	85	特発性間質性肺炎	75
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	93
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	79
34	神経線維腫症	51	89	リンパ管筋腫症	37
35	天疱瘡	32	90	網膜色素変性症	61
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	94
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	97	95	自己免疫性肝炎	13
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	349
42	結節性多発動脈炎	59	97	潰瘍性大腸炎	469
43	顕微鏡的多発血管炎	15	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	21	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	2
47	パージャール病	29	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	GFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	509	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	232	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	63	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	65	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	36	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	22	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	2
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マガニス症候群	0
153	難治顔回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	4
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	7	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	2	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	15	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	6
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・レノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	7
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	2
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院支援加算2、3
・歯科外来診療環境体制加算	・精神疾患診療体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救命救急入院料3、4
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・特定集中治療室管理料1
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・診療録管理体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・医師事務作業補助体制加算1(75対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・緩和ケア病棟入院料
・無菌治療室管理加算1、2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1、2	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・糖尿病合併症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・人工臓腑検査、人工臓腑療法
・がん患者指導管理料1、2、3	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来緩和ケア管理料	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・脳波検査判断料1
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・ニコチン依存症管理料	・内服 ・点滴誘発試験
・開放型病院共同指導料	・有床義歯咀嚼機能検査
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1、2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算1、2
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層 ・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1、2	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・冠動脈CT撮影加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・外傷全身CT加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・無菌製剤処理料
・国際標準検査管理加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・胎児心エコー法	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・網膜再建術
・リンパ浮腫複合的治療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・児童思春期精神科専門管理加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・認知療法 ・認知行動療法1	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科ショート ・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・精神科デイ ・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・肺悪性腫瘍手術(壁側 ・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・医療保護入院等診療料	・同種死体肺移植術
・エタノールの局所注入(甲状腺)(副甲状腺)	・生体部分肺移植術
・透析液水質確保加算2	・内視鏡下筋層切開術
・手術用顕微鏡加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・CAD/CAM冠	・磁気ナビゲーション加算
・手術時歯根面レーザー応用加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科技工加算1及び2	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・補助人工心臓
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種心移植術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・同種心肺移植術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下肝切除術	・歯根端切除手術の注3
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)(Ⅱ)
・同種死体肝移植術	・放射線治療専任加算
・体外衝撃波膵石破碎術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・1回線量増加加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外衝撃波腎 ・尿管結石破碎術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腎腫瘍凝固 ・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・画像誘導密封小線源治療加算
・生体腎移植術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・膀胱水圧拡張術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込 ・置換術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・クラウン ・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・歯科矯正診断料
・胎児胸腔 ・羊水腔シャント術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・輸血管理料Ⅰ	・入院時食事療養(Ⅰ)
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門 ・人工膀胱造設術前処置加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下スリープ胃切除術	・
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	340回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 41例 / 剖検率 7.1%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
思春期過敏性腸症候群 発症とトラウマの関連— 東日本大震災の影響の 検討	遠藤 由香	心療内科	1,100,000	補 委	日本学術 振興会
核医学画像診断による放 射線心筋障害の早期検 出のための前向き研究	高浪 健太郎	放射線治療科(放射 線部)	700,000	補 委	日本学術 振興会
成体由来幹細胞の分離 技術・遺伝子導入技術を 用いた歯牙・歯周組織再 生	新部 邦透	咬合修復科	800,000	補 委	日本学術 振興会
発達障害の子どもと養育 者のための意思決定支援 のガイドラインの開発	井上 由紀子	医学部保健学科小児 看護学分野(看護部 長室)	700,000	補 委	日本学術 振興会
超音波画像による頸部リン パ節転移診断のための ボリュームレジストレー ション法の開発	阪本 真弥	口腔診断科	2,500,000	補 委	日本学術 振興会
日本-タイの二国間比較 による味覚障害の病因解 明と治療戦略の構築	庄司 憲明	口腔診断科	2,400,000	補 委	日本学術 振興会
語彙化錯読の発現機序 の解明と訓練手技の開発 に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部	700,000	補 委	日本学術 振興会
$\omega$ -3系および $\omega$ -6系脂肪 酸由来エイコサノイドの細 胞外放出機構に関する研 究	山口 浩明	薬剤部	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
チロシンキナーゼ型受容 体の超高精度蛍光イメー ジングによる肝細胞がん 組織診断法開発	原 康之	乳腺・内分泌外科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
心身症患者の自己評価 —神経機構の解明と認知 行動療法介入の効果—	佐藤 康弘	心療内科	600,000	補	日本学術 振興会
胃における自然免疫応答 が前癌病変発生を制御す る機序の解明	浅野 直喜	消化器内科	700,000	補	日本学術 振興会
肝癌増殖におけるエキソ ソームを介した機能性 RNA輸送機構の解明と治 療応用	小暮 高之	消化器内科	1,000,000	補	日本学術 振興会
臨床検体から導き出す膵 癌幹細胞関連 miRNAを 用いた膵癌治療の確立	菅野 敦	消化器内科	1,200,000	補	日本学術 振興会
先進的画像診断・血行動 態検査による肺高血圧症 の新たな肺循環、右心機 能評価法の確立	建部 俊介	循環器内科	1,200,000	補	日本学術 振興会
冠攣縮の日内変動におけ るRhoキナーゼ活性の関 与	高橋 潤	循環器内科	900,000	補	日本学術 振興会
エクソームシーケンスに よる髄鞘化関連遺伝子の 解析	植松 貢	小児科	1,200,000	補	日本学術 振興会
トリオ検体におけるアレイ CGH法を用いた、ウエスト 症候群の原因遺伝子検 索	福與 なおみ	小児科	1,400,000	補	日本学術 振興会
癌微小環境におけるRho A関連蛋白質GCF2の発 現制御と転移浸潤メカニ ズムの解析	大塚 英郎	肝胆膵外科	800,000	補	日本学術 振興会
喀痰中のマイクロRNAを 用いた肺癌の早期発見に 関する研究	桜田 晃	呼吸器外科	1,200,000	補	日本学術 振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
腎移植実験による酸化ストレス脆弱性に起因する腎臓病の治療効果の検証	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
透明化羊膜を用いた眼表面疾患新規治療法の開発	横倉 俊二	眼科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
緑内障モデルにおけるカルパイン阻害薬の網膜、中枢神経保護効果の解明	劉 孟林	眼科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
microRNA発現解析による胆道閉鎖症患者の層別化と個別化治療のための研究	佐々木 英之	小児外科	900,000	補 委	日本学術振興会
有床義歯は口腔内カンジダ菌のリスク要因か	菊池 雅彦	総合歯科診療部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
アロマセラピーとエクササイズを用いた乳がん関連リンパ浮腫自己管理プログラムの効果	有永 洋子	がんセンター	500,000	補 委	日本学術振興会
被災地医療を体験することで医学生は将来地域医療に従事するか？	田畑 雅央	卒後研修センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会
精神病早期段階における家族の心理的負荷の形成・維持要因の解明	濱家 由美子	精神科	700,000	補 委	日本学術振興会
疫学研究における血縁構造化対策ガイドラインの作成	柴田 恭子	臨床研究推進センター	700,000	補 委	日本学術振興会
東日本大震災が急性心筋梗塞の発症と医療体制に及ぼす影響に関する研究	羽尾 清貴	循環器内科	500,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
骨髄間葉系幹細胞における転写因子GATA-2の機能解析	沖津 庸子	血液・免疫科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
ARMSのうつ症状と認知機能の関係についての縦断研究	大室 則幸	精神科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
乳癌biomarkerとしての3テスラMRI拡散強調画像の撮像法、評価法の確立	森 菜緒子	放射線診断科	500,000	補 委	日本学術振興会
抗癌剤耐性関連ABCトランスポーターに対するクルクミン誘導体の抑制効果の研究	工藤 克昌	胃腸外科	800,000	補 委	日本学術振興会
CGRPを介した全く新しい機序の緩下剤開発に向けての基礎的検討	長尾 宗紀	胃腸外科	700,000	補 委	日本学術振興会
卵母細胞特異的に発現するTAp63 $\alpha$ -Bnc1シグナルの機能解析	坂本 雅弘	産科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
前向きコホート研究に基づく歯周病と動脈硬化との関連の解明	村上 任尚	高齢者歯科治療部	900,000	補 委	日本学術振興会
OCP/CollagenとMSCとの複合体による骨再生法の確立	川井 忠	歯科顎口腔外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
脊髄損傷におけるmTOR阻害薬ラパマイシンの炎症・二次損傷抑制効果の検討	菅野 晴夫	整形外科	700,000	補 委	日本学術振興会
造影高周波超音波画像による口腔癌微小転移リンパ節の検出およびマッピング法の開発	森 士朗	歯科顎口腔外科	4,100,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
歯および唾液腺の形態形成に関わる分子基盤の同定とその制御法の開発	福本 恵美子	小児歯科	3,400,000	補 委	日本学術振興会
乳癌術前化学療法後の転移リンパ節での乳癌幹細胞の量・機能の高感度蛍光ナノ解析	多田 寛	乳腺・内分泌外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
正常眼圧緑内障患者における漢方薬内服による眼底血流改善効果の検討	高山 真	総合地域医療教育支援部	1,200,000	補 委	日本学術振興会
アルコール性肝炎患者の網羅的エクソーム解析による遺伝的要因の解明	糸 潔	消化器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
心臓自律神経系修飾による心房細動合併徐脈頻脈症候群の治療戦略に関する研究	福田 浩二	循環器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
抗血管新生及び抗リンパ管新生療法による抗腫瘍免疫療法の効果増強作用の検討	岡崎 達馬	呼吸器内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
小胞輸送異常に着目したパーキンソン病の分子病態解析	長谷川 隆文	神経内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
パーキンソン病における脳内 $\alpha$ -シヌクレイン凝集体の画像化とその臨床応用	菊池 昭夫	神経内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
肝臓—膵 $\beta$ 細胞間神経ネットワークの生理的意義の解明	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
膠原病性肺高血圧症の病態解明—骨髄由来免疫抑制細胞の分化とGATA-2の関与—	城田 祐子	血液・免疫科	1,100,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
骨形成不全症の分子生物学的病態解明とWntシグナル経路を介する新しい分子標的治療	菅野 潤子	小児科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会
成育限界期の胎児・早産児におけるコーチゾル分泌不全の病態解析	北西 龍太	小児科(周産母子センター)	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会
Subplate neuronの損傷が胎生期の脳皮質形成に与える影響の解析	埴田 卓志	小児科(周産母子センター)	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会
皮膚疾患におけるマクロファージ亜集団の解析	渡部 晶子	皮膚科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会
選択的遺伝子欠損マウスを用いた表皮ヘムオキシゲナーゼ1の機能解析	水芦 政人	皮膚科	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会
小児白血病長期生存患者の認知機能障害とMRI機能的画像の関係: 照射群VS非照射群	麦倉 俊司	放射線科(放射線部)	900,000	(補) 委	日本学術振興会
Metabolic surgeryによるNAFLD改善効果 腸内細菌から検証する	田中 直樹	胃腸外科	2,000,000	(補) 委	日本学術振興会
末期肝不全に対する肝過小グラフト移植を基盤とした多能性幹細胞融合肝再生法の開発	宮城 重人	移植・再建・内視鏡外科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会
膵島移植成否評価と膵神経内分泌腫瘍早期発見を可能にする新規超音波造影剤の開発	坂田 直昭	肝・胆・膵外科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会
肺移植後虚血再灌流肺障害予防戦略における抗酸化転写因子Nr2の役割の解明	星川 康	呼吸器外科	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
パルスジェットメスによる 深部頭蓋底腫瘍摘出法 の開発	川口 奉洋	脳神経外科(高度救命救急センター)	1,200,000	補 委	日本学術振興会
肩関節前方脱臼モデルの 開発一病態解明と手術術 式の検証のために	山本 宣幸	整形外科	800,000	補 委	日本学術振興会
加齢卵母細胞における核 小体構造の解析とSUMO 化の生理的意義の検討	井原 基公	婦人科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
がん患者の血栓症予防を 目的としたMET-PAII経路 阻害による分子標的治療 開発	豊島 将文	周産母子センター	1,000,000	補 委	日本学術振興会
質量分析計を用いた新規 頭頸部癌唾液、血液マー カーの検出	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	800,000	補 委	日本学術振興会
高度視野狭窄患者の視 野障害が自動車運転能 力に与える危険性の評価 と運転支援	国松 志保	眼科	200,000	補 委	日本学術振興会
ミクログリア・マクロファ ージを用いた新規神経保護 治療の探索的研究	丸山 和一	眼科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
口腔粘膜のびらん・潰瘍 病変における抗原提示能 とオートファジー解析によ る治療創生	菅原 由美子	口腔診断科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
カテコール系接着ポリ マー含有シリコンの義 歯床粘膜面応用に関する 研究	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療 部	1,200,000	補 委	日本学術振興会
パーソナルFEAシミュレ ーションによるインプラント設 計力的最適化システムの 開発	重光 竜二	咬合回復科	900,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NaF-PETならびにFEAによる義歯床下顎堤吸収に関する早期診断指針の検討	末永 華子	予防歯科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
脊髄虚血に対するナノバブル発生技術を応用した脊髄液酸素化による脊髄保護法の開発	秋山 正年	心臓血管外科	600,000	補 委	日本学術振興会
卵巣がんの超早期発見に向けた卵管采部の病理学的検索及び血中循環DNA測定	八重樫 伸生	産婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
口腔癌リンパ節転移に対する金ナノ粒子と近赤外線光を用いた低侵襲治療法の開発	森 士朗	歯科顎口腔外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
ヒトの歯を用いた低線量長期外部被曝量の測定	高橋 温	障害者歯科治療部	800,000	補 委	日本学術振興会
網羅的唾液プロテオーム解析法による唾液機能的タンパク質研究プラットフォームの創設	飯嶋 若菜	予防歯科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
解糖系亢進に基づく乳癌新規治療法の探索と事前効果予測に関する研究	佐藤 章子	乳腺・内分泌外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌における治療アルゴリズムの構築:臓器横断的アプローチ	宮下 穰	乳腺・内分泌外科	800,000	補 委	日本学術振興会
降圧薬の最大降圧度および最大効果出現日数に関する情報の構築:家庭血圧に基づく検討	佐藤 倫広	薬剤部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
転移RNAの挙動に基づいた新規腎障害マーカーの確立	三島 英換	腎・高血圧・内分泌科	1,000,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
視神経脊髄炎におけるAQP4内在化を介したアストロサイト傷害分子メカニズムの解明	西山 修平	神経内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
ニオイ記憶検査法による認知症発症予測精度の向上に向けた研究	馬場 徹	高次脳機能障害科	900,000	補 委	日本学術振興会
樹状細胞分化におけるGATA2の機能同定—MonoMac症候群の病態解明—	大西 康	血液・免疫科	800,000	補 委	日本学術振興会
WASP異常症及び新規常染色体劣勢WASの分子病態と迅速診断法に関する研究	渡辺 祐子	小児科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
成育限界児を救命するためのポンプレス人工胎盤システムの開発	臼田 治夫	小児科(周産母子センター)	1,500,000	補 委	日本学術振興会
緑内障の客観的早期診断法の開発に向けて～脳MRIはバイオマーカーとなり得るか？	舘脇 康子	加齢核医学科	500,000	補 委	日本学術振興会
マイクロバブルを用いた血管密度解析による、乳癌微小リンパ節転移診断法の確立	嶋内 亜希子	放射線診断科	600,000	補 委	日本学術振興会
ユビキチンリガーゼFbxw7と基質タンパク質を標的とした胆道癌個別化治療の確立	益田 邦洋	肝・胆・膵外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
月経関連疾患に対する遺伝・環境・生活習慣の関連および妊娠分娩経過による影響	渡邊 善	婦人科	900,000	補 委	日本学術振興会
非侵襲的眼底血流測定による妊娠高血圧症候群の早期診断法の開発	倉片 三千代	メガバンク菅原研気付(婦人科)	1,000,000	補 委	日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
網膜スライスパッチクランプ法によるChR発現神経節細胞の機能解析	村山 奈美枝	眼科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
酸化ストレスを基盤にした緑内障神経保護治療開発研究	檜森 紀子	眼科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
生体埋入型バクテリアチャンバーを用いた菌性感染症に対する免疫応答評価	松井 有恒	歯科顎口腔外科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
インプラントstabilityと周囲骨代謝活性との関連から最適荷重時期を探る	神田 佳明	咬合回復科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
リンパ節間質液圧特性に基づいた口腔癌リンパ節転移早期診断法の開発	阿部 陽子	歯科顎口腔外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
アクチン結合蛋白フィラミンAによる歯根形成メカニズムの解明	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	800,000	補 委	日本学術振興会
ヒト関節軟骨細胞におけるIL1B遺伝子発現に関わるDNAメチル化機構の解明	橋本 功	整形外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
BACH2遺伝子によるB細胞性リンパ腫進展の解明	福原 規子	血液・免疫科	2,000,000	補 委	日本学術振興会
レジンモノマーの安全性を評価する先進的なセルベースアッセイ系の構築	折本 愛	保存修復科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
低用量バゾプレッシン投与が成育限界児の臓器血流に与える影響の解析	渡邊 真平	小児科(周産母子センター)	1,200,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
精神病発症リスク状態における自閉症スペクトラム障害の併存、関与についての研究	桂 雅宏	精神科	1,200,000	補	日本学術振興会
歯原性上皮細胞におけるNGF-p75シグナルによる細胞増殖制御機構の解明	小野 真理子	小児歯科	1,000,000	補	日本学術振興会
摂食嚥下機能の発達を促すための舌機能訓練法の開発と評価	橋本 恵	障害者歯科治療部	1,000,000	補	日本学術振興会
高精度日本人ゲノム参照パネルに基づいた日本人炎症性腸疾患感受性遺伝子の高密度解析	角田 洋一	消化器内科	12,800,000	補	日本学術振興会
胎児臓器の成長・損傷・適応の解析:ストレスに対する過成熟反応の意義を解明する	松田 直	小児科(周産母子センター)	3,600,000	補	日本学術振興会
組織切開・形態学的温存下に切開面周囲に薬液浸潤可能な衝撃波メスの開発	中川 敦寛	脳神経外科(高度救命救急センター)	5,800,000	補	日本学術振興会
日本人標準ゲノムとジャポニカアレイを用いた子宮内膜症発症の遺伝要因解明	八重樫 伸生	産婦人科	4,400,000	補	日本学術振興会
歯を用いた内部被曝量のスクリーニング	高橋 温	障害者歯科治療部	8,600,000	補	日本学術振興会
遺伝的背景を揃えたコントロールiPS細胞を用いたALSの細胞種特異的な病態の解明	鈴木 直輝	神経内科	6,400,000	補	日本学術振興会
慢性腎臓病、自己免疫疾患における(プロ)レニン受容体の臨床的意義の解明	鳴海 かほり	腎・高血圧・内分泌科	1,200,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
親生体素材シートを用いた肝表面への新規肝細胞移植法の開発	宮澤 恒持	移植・再建・内視鏡外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
患者皮膚由来シュワン細胞を用いた難治性神経障害性疼痛の治療戦略	村上 徹	麻酔科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
Pannexin3の機能を応用した新骨再生療法の開発	石河 真幸	保存修復科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
靱帯機能を有する人工歯根膜製造技術の開発	二木 正晴	保存修復科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
ポリフェノールと過酸化水素光分解殺菌法を併用した新たな義歯性潰瘍治療法の提案	倉内 美智子	咬合修復科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
グルタミン酸輸送タンパク質PICK1を標的とした顎骨吸収抑制技術の開発	鎌野 優弥	咬合修復科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
小分子化合物を用いた再生歯胚構築の為に細胞分化誘導法の開発	成瀬 正啓	小児歯科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
歯周病菌による動脈瘤形成に関する研究	玉原 亨	予防歯科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
てんかん患者の認知障害、精神症状に関わる神経ネットワーク異常の解明	西尾 慶之	高次脳機能障害科(リハビリテーション部)	1,300,000	補 委	日本学術振興会
食塩感受性高血圧の腎障害に対するリハビリ運動療法の治療的・予防的効果と機序の解明	坂田 佳子	内部障害リハビリテーション科	1,200,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
腱板断裂術後における肩関節運動量及び筋活動量を指標とした評価法の開発	村木 孝行	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	2,200,000	補	日本学術振興会
心臓と骨の連関から考える運動療法による慢性心不全・骨粗鬆症の革新的治療戦略	松本 泰治	循環器内科	1,800,000	補	日本学術振興会
乳歯および永久歯における必須微量元素の分布と子どもの健康背景	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,500,000	補	日本学術振興会
腎周皮細胞と腎臓病コホートサンプルを用いた腎線維化抑制治療の探索	山本 多恵	腎・高血圧・内分泌科	1,500,000	補	日本学術振興会
ミトコンドリア品質管理機構から見た薬物の副作用・ミトコンドリア機能障害分子機構	野村 亮介	高度救命救急センター	1,500,000	補	日本学術振興会
長期的な前向きリンパ腫コホート研究の確立に基づく難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	一迫 玲	血液・免疫科(造血器病理学寄附研究部門)	1,700,000	補	日本学術振興会
アシネトバクター属におけるオーダーメイド治療戦略の新規確立に関する研究	遠藤 史郎	検査部(感染管理室)	1,400,000	補	日本学術振興会
実効性を重視した災害公営住宅高齢者健康管理システムの構築と運営に関する研究	沖永 壯治	老年科	1,800,000	補	日本学術振興会
地域医療における円皮鍼を用いた誤嚥性肺炎の予防効果に関する研究	金子 聡一郎	総合地域医療教育支援部	500,000	補	日本学術振興会
大腸癌新規サブタイプ発癌に関わる小分子RNA機能の解明と新規治療標的分子の探索	高橋 雅信	腫瘍内科	2,100,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
B型肝炎ウイルスの生活環境に利用される小胞輸送経路の解明とその治療応用	井上 淳	消化器内科	1,200,000	補	日本学術振興会
非手術適応慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する新しい診断・治療・評価法の確立	杉村 宏一郎	循環器内科	1,200,000	補	日本学術振興会
活性化内皮特異的エクソソーム解析によるCOPD病態マーカーの開発	山田 充啓	呼吸器内科	1,600,000	補	日本学術振興会
気道粘液線毛輸送の攪乱因子となる肺microbiome由来抗原の同定とその制御	玉田 勉	呼吸器内科	1,400,000	補	日本学術振興会
肝臓でのmTOR制御シグナルのメタボリックシンドロームに及ぼす役割の解明	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,500,000	補	日本学術振興会
骨髄微小環境の老化は多発性骨髄腫の治療標的になりうる:細胞老化と個体老化の接点	兼平 雅彦	血液・免疫科	1,500,000	補	日本学術振興会
乾癬患者におけるTNF $\alpha$ アンタゴニスト二次無効のメカニズム解析	木村 裕	皮膚科	1,100,000	補	日本学術振興会
乳房拡散強調画像推奨プロトコール作成とADC値標準化に関する研究	前川 由依	放射線診断科	2,600,000	補	日本学術振興会
5-FUによる効果・有害事象を規定する薬理遺伝学的バイオマーカーの同定と機能解析	大沼 忍	胃腸外科	1,100,000	補	日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍の転移機構の解明	水間 正道	肝・胆・膵外科	1,800,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
機械的補助循環症例における後天性フォンウィルブランド病の実態解明	藤原 英記	心臓血管外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
新規インドール化合物の心臓血管外科領域における臓器保護への応用	安達 理	心臓血管外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
Dual Energy CTとMRIによる腹部大動脈瘤破裂リスク評価法の開発	清水 拓也	移植・再建・内視鏡外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
低弾性タン人工股関節モデルでの応力遮蔽抑制効果の検討	森 優	整形外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
高周波超音波および光音響特性を利用した軟部肉腫の術中イメージング法の確立	綿貫 宗則	整形外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
日本人前立腺癌患者に対するホルモン療法の有害事象の検証と対策	三塚 浩二	泌尿器科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
新規パルスジェットメスによる無阻血腎部分切除術の開発	山下 慎一	泌尿器科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
子宮内膜癌における筋層浸潤と局所免疫反応の解析	徳永 英樹	婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
酸化ストレス応答と脳内環境に着目した間欠型一酸化炭素中毒の病態解析	黒田 宙	神経内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
オーダーメイド歯髄選択血流計を試作し、血流検出に基づく新しい歯髄診断法を確立する	井川 資英	歯周病科	2,600,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
義歯床用材料に着目した顎堤吸収の分子機構探索	奥山 弥生	咬合修復科	1,100,000	補	日本学術振興会
歯列接触癖を有する患者の表情筋活動、咀嚼筋活動および顔貌との関連に関する検討	埴 総司	咬合回復科	2,100,000	補	日本学術振興会
解剖学的標準化と統計画像を応用した咀嚼筋局所活動の3次元解析	山口 哲史	高齢者歯科治療部	1,500,000	補	日本学術振興会
TRPV4を介した術後痛のメカニズム 何が痛み のトリガーとなるか	城戸 幹太	歯科麻酔疼痛管理科	2,600,000	補	日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症における骨吸収メカニズムの解明に向けたRunx2の機能解析	福永 智広	矯正歯科	1,600,000	補	日本学術振興会
13番染色体異常による硬組織への影響	齋藤 幹	小児歯科	1,500,000	補	日本学術振興会
食道癌発現促進因子としての口腔細菌叢機能の網羅的解析	丹田 奈緒子	予防歯科	2,200,000	補	日本学術振興会
倫理観育成とノンテクニカルスキル教育に着目した外科実習プログラムの構築と評価	壹岐 裕子	先端医療技術トレーニングセンター(卒後研修センター)	800,000	補	日本学術振興会
網羅的リン酸化プロテオミクスによる抗炎症性脂質メディエーターの作用機構解明	春日 紀恵	薬剤部	900,000	補	日本学術振興会
炎症性腸疾患患者の免疫系と腸内細菌叢を移植したヒト化マウスで腸炎は再現できるか?	角田 洋一	消化器内科	1,400,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ポンプレス人工胎盤システムを応用した新生児蘇生デバイスの開発	松田 直	小児科(周産母子センター)	1,400,000	補 委	日本学術振興会
地域における食道アカラシア患者潜在に関する実態調査研究	石井 正	総合地域医療教育支援部	1,000,000	補 委	日本学術振興会
ARDSにおける内皮微小粒子の役割	齋藤 浩二	集中治療部	800,000	補 委	日本学術振興会
前転移状態リンパ節のニッチ形成をとらえた高周波超音波画像診断システムの開発	阪本 真弥	口腔診断科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
唾液由来鎮痛物質による新たな慢性疼痛制御理論の確立	庄司 憲明	口腔診断科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
振動性脳刺激を用いた他者間脳シンクロによる教育学習とリハビリ効果促進法の開発	竹内 直行	肢体不自由リハビリテーション科	500,000	補 委	日本学術振興会
末梢動脈疾患患者における歩容変化の機序解明と新たな治療介入への応用	柿花 隆昭	リハビリテーション部	1,400,000	補 委	日本学術振興会
呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋 珠緒	内部障害リハビリテーション科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
弾性力を利用した剛性調整型足関節装具と股関節装具による片麻痺患者の歩行再建	関口 雄介	肢体不自由リハビリテーション科(リハビリテーション部)	1,700,000	補 委	日本学術振興会
補綴歯科的技術を応用した乳房エピテーゼの新たな製作方法の開発	貴田岡 亜希	咬合回復科	1,700,000	補 委	日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
統合失調症に対する認知行動療法の実践的指導体制の確立と日本での実施可能性の検討	砂川 恵美	精神科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
悪性末梢神経鞘腫に対する新規治療薬(デブシペプチド類縁体)の開発	西條 憲	腫瘍内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
遠隔ネットワークを用いた医学生に対する症例報告執筆プログラムの確立	柿坂 庸介	てんかん科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
定量的磁化率マッピングを用いた高精度線量計算システムの開発	伊藤 謙吾	放射線治療科(放射線部)	1,100,000	補 委	日本学術振興会
子宮頸がんに対する外部照射と腔内照射の高精度な積算線量評価システムの開発	角谷 倫之	放射線診断科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
腸管粘膜内T細胞のエピゲノム修飾異常は炎症性腸疾患内科治療抵抗性の主要因子である	遠藤 克哉	消化器内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
光干渉断層法を用いた肺高血圧症の新規組織診断方法の確立	青木 竜男	循環器内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
心疾患における海馬の活動性の意義の研究	鈴木 秀明	循環器内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
M-CSF誘発性リンパ管新生刺激因子VEGF-C,Dの細胞内シグナル解析	小林 誠	呼吸器内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
メタボロミクス解析によるサルコイドーシス新規バイオマーカーの開発	村松 聡士	呼吸器内科	800,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
アストロサイト障害に起因する髄鞘脱落機序の解明	高井 良樹	神経内科	1,800,000	補	日本学術振興会
先天性大脳白質形成不全症の新規発症機序:ミトコンドリアへの低分子RNA輸送障害	菊池 敦生	小児科	1,700,000	補	日本学術振興会
遺伝子発現解析によるマウス胎仔低酸素バイオマーカーの探索	飯田 溪太	産科(臨床研究推進センター)	1,000,000	補	日本学術振興会
白斑症治療を目的とした幹細胞からの色素細胞誘導とメラニン産生・蓄積制御機構の検討	土山 健一郎	皮膚科	1,400,000	補	日本学術振興会
体幹部定位放射線治療における視認下能動的呼吸停止システム基盤の開発研究	石川 陽二郎	放射線治療科	1,700,000	補	日本学術振興会
確率論的アプローチによる新規脳PET画像解析法の認知症診断への臨床応用	荒井 晃	放射線診断科	1,700,000	補	日本学術振興会
CSF-1受容体陽性マクロファージ制御による、小腸移植後免疫抑制療法の確立	工藤 博典	小児外科	1,100,000	補	日本学術振興会
大腸癌に対するCripto-1標的療法の実現に向けて	唐澤 秀明	胃腸外科	1,800,000	補	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎術後の回腸嚢炎における内因性抗菌タンパクの病態関与と治療応用の研究	渡辺 和宏	胃腸外科	1,100,000	補	日本学術振興会
膵内分泌腫瘍におけるDAXX遺伝子の作用解明と薬物治療効果への関係	青木 豪	肝・胆・膵外科	1,600,000	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
マウス受精卵における受精卵呼吸量測定装置を用いた呼吸量測定の安全性の検討	志賀 尚美	婦人科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
次世代シーケンサー、マイクロアレイを用いた頭頸部多段階発がん機構の解明	中目 亜矢子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補 委	日本学術振興会
緑内障モデル動物におけるEcel1の機能解析と治療への応用	佐藤 孝太	眼科	2,000,000	補 委	日本学術振興会
ヒト歯髄細胞におけるベルペリンを用いた新規硬組織再生法の開発研究	須藤 瑞樹	歯周病科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
カプセル内視鏡を用いた画像解析による顎補綴装置の辺縁封鎖機能の評価に関する検討	石河 理紗	顎顔面口腔再建治療部	2,100,000	補 委	日本学術振興会
非線形・動的FEAに基づく歯科インプラントの生体力学的検討	水戸 武彦	咬合回復科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
バイオフィルム代謝活性評価と表面腐食評価によるチタンの生物学的腐食モデルの構築	福島 梓	咬合回復科	900,000	補 委	日本学術振興会
IGF-I長期発現プラスミドを用いた顎骨再生治療法の開発とその臨床応用	熊坂 晃	口腔診断科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
メカニカルストレス刺激時の骨芽細胞におけるエピジェネティックな骨形成機構の解明	解良 洋平	矯正歯科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
歯根膜におけるScleraxisのメカトランスダクション機構の解明	川津 正慶	矯正歯科	1,500,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
IGF-IIによる再生歯胚の形態制御機構に関する研究	吉田 倫子	矯正歯科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
咀嚼機能の向上は代謝性疾患治療の基盤となる	土谷 忍	顎口腔機能治療部	900,000	補 委	日本学術振興会
看護師の専門職意識を測定する尺度の開発と専門職意識の予測因子の解明	高田 望	看護部(西3階病棟)	1,100,000	補 委	日本学術振興会
精神疾患を有する妊産婦に対する産後早期精神科デイプログラムに関する予備的研究	菊地 紗耶	精神科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
妊婦および小児におけるインフルエンザワクチンの有効性・安全性評価	小原 拓	薬剤部	900,000	補 委	日本学術振興会
司法における証拠としてのゲノム研究と脳科学研究:各国の比較研究を基軸として	戸田 聡一郎	臨床研究推進センター	900,000	補 委	日本学術振興会
歯を用いた内部被曝量のスクリーニング	高橋 温	障害者歯科治療部	8,600,000	補 委	日本学術振興会
思春期過敏性腸症候群発症とトラウマの関連—東日本大震災の影響の検討	遠藤 由香	心療内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
microRNA発現解析による胆道閉鎖症患者の層別化と個別化治療のための研究	佐々木 英之	小児外科	900,000	補 委	日本学術振興会
被災地医療を体験することで医学生は将来地域医療に従事するか?	田畑 雅央	卒後研修センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
疫学研究における血縁構造化対策ガイドラインの作成	柴田 恭子	臨床研究推進センター	700,000	補委	日本学術振興会
WASP異常症及び新規常染色体劣勢WASの分子病態と迅速診断法に関する研究	渡辺 祐子	小児科	1,500,000	補委	日本学術振興会
日本-タイの二国間比較による味覚障害の病因解明と治療戦略の構築	庄司 憲明	口腔診断科	2,400,000	補委	日本学術振興会
リンパ節間質液圧特性に基づいた口腔癌リンパ節転移早期診断法の開発	阿部 陽子	歯科顎口腔外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	16,882,000	補委	厚生労働省
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	呉 繁夫	小児科	38,462,000	補委	厚生労働省
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	仁尾 正記	小児外科	14,810,000	補委	厚生労働省
免疫毒性評価試験法 Multi-Immuno Toxicity assayの国際validationへ向けての検討	相場 節也	皮膚科	18,000,000	補委	厚生労働省
日本における今後の死亡統計のあり方の提言	中谷 純	メディカルITセンター	2,800,000	補委	厚生労働省
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	56,700,000	補委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究－診療動向と治療成績の変化－	八重樫伸生	婦人科	600,000	補 委	公益社団法人日本婦人科腫瘍学会
不安定プラークの血液診断薬の開発	池田浩治	臨床研究推進センター	3,900,000	補 委	学校法人岩手医科大学
不妊に関する専門的な相談と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	宇都宮裕貴	婦人科	1,416,720	補 委	宮城県
公益財団法人にいがた産業創造機構・機械的強度と弾性率を部位毎に最適化させた新素材活用による新たな人工股関節システムの開発と事業化	池田浩治	臨床研究推進センター	27,060	補 委	公益財団法人にいがた産業創造機構
筋ジストロフィー関連疾患の基盤的診断・治療開発研究	青木正志	神経内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
再生医療のがん治療応用を目指した基盤整備に関する研究	坂田直昭	肝・胆・膵外科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
成育希少疾患の症例登録と遺伝学的診断に関する研究	青木洋子	遺伝科	800,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
重症心不全患者に対するテイラーメイド方式心臓サポートネット開発	齋木佳克	心臓血管外科	3,100,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
超音波検査による乳がん術前化学療法早期判定基準の有効性に関する研究(JABTS BC-03)	山口拓洋	臨床研究推進センター	300,000	補 委	日本乳腺甲状腺超音波医学会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
脳心血管疾患に係るハイリスク者を抽出する循環器先制医療技術開発に関する研究	下川宏明	循環器内科	700,000	補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討・免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	10,366,000	補	国家公務員共済組合連合会東北公済病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺みか	病理部	754,000	補	気仙沼市立病院
数値流体力学による脳動脈瘤発症リスク診断法の開発	富永悌二	脳神経外科	7,854,000	補	独立行政法人科学技術振興機構
セレンディピターを用いた細胞検出技術の確立	富永悌二	脳神経外科	10,675,000	補	独立行政法人科学技術振興機構
重症急性膵炎に対する蛋白分解酵素阻害薬・抗菌薬膵局所動注療法の有効性に関する多施設共同ランダム化比較試験	下瀬川徹	消化器内科	53,512,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国産技術に基づく世界初の衝撃波アブレーション不整脈治療システムの開発	下川宏明	循環器内科	24,999,600	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機関および薬剤師における副作用等報告制度の認識と実践の実態把握とその推進に関する研究	眞野成康	薬剤部	3,510,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器・難病・希少疾患などに対するアカデミア主導の臨床研究	八重樫伸生	臨床研究推進センター	63,833,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代謝疾患克服のための臓器間ネットワーク機構の統合的機能解明	片桐秀樹	糖尿病代謝科	48,100,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
細胞内シグナル伝達異常による先天奇形症候群の病態解明と治療法開発の研究	青木洋子	遺伝科	29,991,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
COPD合併喘息の新規治療法開発等に関する研究	一ノ瀬正和	呼吸器内科	17,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	青木正志	神経内科	33,200,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
希少遺伝子難病の原因遺伝子同定・遺伝子解析とその病態解明	青木洋子	遺伝科	41,242,500	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の2/3相試験	青木正志	神経内科	157,308,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	青木正志	神経内科	82,402,100	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究	大内憲明	乳腺・内分泌外科	155,331,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	保坂正美	整形外科	700,000	補 委	国立大学 法人九州 大学
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	下川宏明	循環器内科	300,000	補 委	国立大学 法人北海 道大学
次世代シーケンサーを用いたmRNA・microRNA発現解析	近藤泰輝	消化器内科	1,000,000	補 委	公立大学 法人名古 屋市立大 学



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
高齢者の薬物治療の安全性に関する研究	高山真	総合地域医療教育支援部	600,000	補	国立大学 法人東京 大学
原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植法の確立	笹原洋二	小児科	600,000	補	国立大学 法人九州 大学
難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	笹原洋二	小児科	1,500,000	補	地方独立 行政法人 大阪市民 病院機構
孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	青木正志	神経内科	1,300,000	補	国立大学 法人名古 屋大学
臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	齋木佳克	心臓血管外科	300,300	補	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
大量出血症例に対する血液製剤の適正な使用ガイドライン作成に関する研究	久志本成樹	救急科	350,000	補	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
新生児マススクリーニング対象疾患の遺伝子診断パネルの疾患担当	坂本修	小児科	910,000	補	国立大学 法人岐阜 大学
筋萎縮性側索硬化症の遺伝子解析	青木正志	神経内科	1,900,000	補	国立大学 法人神戸 大学
がん治療に伴う皮膚変化の評価方法と標準的ケア確立に関する研究	菊地克子	皮膚科	540,000	補	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	高野忠夫	臨床研究推進センター	900,000	補	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を予測するバイオマーカーの探索的研究	福原規子	血液・免疫科	1,500,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	川岸直樹	移植・再建・内視鏡外科	200,001	補 委	国立大学法人九州大学
HBV複製肝細胞より産生される因子の免疫細胞に与える影響	近藤泰輝	消化器内科	5,000,000	補 委	公立大学法人名古屋 名古屋市立大学
臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	星川康	呼吸器外科	300,300	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
先天性リンパ管疾患の診療指針作成及び病理・細胞生物学的知見の臨床応用へ向けた研究	青木洋子	遺伝科	1,498,900	補 委	学校法人慶應義塾
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	井上彰	緩和医療科	500,000	補 委	学校法人慶應義塾
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	富永悌二	脳神経外科	1,300,000	補 委	学校法人久留米大学
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	森悦朗	高次機能障害リハ科	800,000	補 委	独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院
60歳以上の高齢発症もやもや病に関する多施設共同研究(MODEST)	富永悌二	脳神経外科	1,000,000	補 委	国立大学法人北海道大学
PEOPLE-J試験およびVICTORY-J試験への症例登録	井上彰	緩和医療科	1,300,000	補 委	国立大学法人金沢大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
医師主導治験 (VICTORY-J)における臨床検体の採取	井上彰	緩和医療科	1,300,000	補 委	国立大学 法人金沢 大学
チロシナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究	井上彰	緩和医療科	3,000,000	補 委	国立大学 法人新潟 大学
COPD早期発見のマーカーの探索	一ノ瀬正和	呼吸器内科	800,000	補 委	国立大学 法人鹿児 島大学
遺伝性心血管疾患の症例集積と症例機能解析およびゲノム情報解析システムの開発・普及推進	下川宏明	循環器内科	1,200,000	補 委	国立大学 法人大阪 大学
仙台におけるデータ収集と解析	松本和紀	精神科	2,500,000	補 委	学校法人 東邦大学
自己心膜製ステントレス僧帽弁置換術の安全性と効果に関する研究	齋木佳克	心臓血管外科	500,000	補 委	公益財団 法人日本 心臓血管 研究振興 会附属榑 原記念病 院
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	高野忠夫	臨床研究推進センター	1,100,000	補 委	茨城県立 中央病院
角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植の医師主導治験	中澤徹	眼科	3,900,000	補 委	国立大学 法人大阪 大学
MINtS検査(NEJ021a)への症例登録	井上彰	緩和医療科	640,000	補 委	学校法人 自治医科 大学
Microbiome解析による自己免疫性膵炎(AIP)新規マーカーの探索	下瀬川徹	消化器内科	1,200,000	補 委	国立大学 法人京都 大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	元
原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンキングと網羅的解析	呉繁夫	小児科	14,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンキングと網羅的解析	青木洋子	遺伝科	14,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
心臓移植対象患者管理における在宅療法に関する研究	齋木佳克	心臓血管外科	500,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
中性脂肪蓄積心筋血管症の臨床経過に関する検討	杉村宏一郎	循環器内科	100,000	補 委	国立大学 法人大阪大学
レビー小体病のBPSDの発現機序の解明と治療法の開発研究	森悦朗	高次機能障害リハ科	500,000	補 委	国立大学 法人大阪大学
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	荒井陽一	泌尿器科	299,000	補 委	国立大学 法人九州大学
心房細動リスクの評価・層別化指標としてのリスクコアの開発とリスク軽減に資する因子の検討	下川宏明	循環器内科	10,630,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
プリオノイド蛋白質の伝播阻害	長谷川隆文	神経内科	3,400,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
インスリン受容機構障害による糖尿病に関する研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	650,000	補 委	公立大学 法人和歌山県立医科大学
女性ホルモンに着目した疫学研究および介入研究を用いた予防法の開発	八重樫伸生	婦人科	10,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
消化器領域の未診断疾患の研究	下瀬川徹	消化器内科	1,000,000	補 委	国立研究 開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン ター
四肢麻痺患者の自立支 援を目的とした多連発パ ルス刺激による新しいリ ハビリテーションシステム の開発	出江紳一	肢体不自由リハ科	3,998,800	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
リンパ脈管筋腫症に対す るラパマイシン長期内服 の効果と安全性評価のた めのコホート調査	玉田勉	呼吸器内科	500,000	補 委	国立大学 法人新潟 大学
iPS細胞を用いた家族性 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)の病態解明・新規 治療法開発	青木正志	神経内科	10,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
視神経脊髄炎の再発に 対するリツキシマブの有 用性を検証する第Ⅱ/Ⅲ 相多施設共同プラセボ対 照無作為化試験	中島一郎	神経内科	1,000,000	補 委	独立行政 法人国立 病院機構 宇多野病 院
医工連携を基盤としたト ランスレーショナルリサー チ拠点形成	下川宏明	臨床研究推進センター	212,000,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
シーズA	下川宏明	臨床研究推進センター	74,500,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
シーズB, C	下川宏明	臨床研究推進センター	676,200,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
シーズB, C	下川宏明	臨床研究推進センター	676,200,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
革新的医療機器創出促 進事業	下川宏明	臨床研究推進センター	614,324,000	補 委	宮城県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
臨床研究拠点等整備事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	76,000,000	補 委	宮城県
国産医療機器創出促進 基盤整備等事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	7,250,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
未承認医薬品等臨床研究 安全性確保支援事業	八重樫伸生	臨床研究推進センター	171,110,000	補 委	国立研究 開発法人 日本医療 研究開発 機構
Stage III 結腸癌治療切除 例に対する術後補助化学療法 としてのカペタビンの至適投与 期間に関するランダム化第Ⅲ相 臨床試験(JFMC37-0801)	大沼忍	胃腸外科	5,000	補 委	財団法人 がん集学的 治療研究 財団
冠動脈疾患患者に対する ピタバスタチンによる積極的 脂質低下療法または通常脂質 低下療法のランダム化比較試験	下川宏明	循環器内科	40,000	補 委	公益財団 法人パブリックヘルスリサーチ センター
治療切除不能な進行・再 発胃癌症例におけるHER2の 検討一観察研究(JFMC44-1101)	柴田 近	胃腸外科	10,000	補 委	財団法人 がん集学的 治療研究 財団
再発危険因子を有する Stage II 大腸癌に対する UFT/LV療法の臨床的有用性 に関する研究(JFMC46-1201)	三浦康	胃腸外科	108,000	補 委	財団法人 がん集学的 治療研究 財団
Stage III 結腸癌治療切除 例に対する術後補助化学療法 としてのmFOLFOX6療法または XELOX療法における5-FU系抗 がん剤およびオキサリプラチン の至適投与期間に関するラン ダム化第Ⅲ相比較臨床試験	海野倫明	肝・胆・膵外科	10,800	補 委	財団法人 がん集学的 治療研究 財団
思春期女性へのHPVワクチン 公費助成開始後における子宮 頸癌のHPV16/18陽性割合の 推移に関する長期疫学研究	新倉 仁	婦人科	108,000	補 委	財団法人 国際科学 振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験(POTENT)	石田孝宣	乳腺・内分泌外科	400,000	補 ○委	パブリックヘルスリサーチセンター
再発・転移頭頸部扁平上皮癌に対するPaclitaxel+Carboplatin+Cetuximab(PCE)併用療法の第Ⅱ相試験(CSPOR-HN02)	西條憲	がんセンター	216,000	補 ○委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究—ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討—(BRIGHTEN)	佐藤博	腎・高血圧・内分泌科	97,200	補 ○委	公益財団法人先端医療振興財団
病理病期Ⅰ期(T1>2cm、TNM分類6版)非小細胞肺癌完全切除例における術後治療に関する観察研究(CSPOR LC-03)	岡田克典	呼吸器外科	205,200	補 ○委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に関する研究(STAR ReGISTry)	高梨雅信	腫瘍内科	21,600	補 ○委	先端医療振興財団

計 313

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	瀧 靖之	機能画像医学	"Amygdala and cingulate structure is associated with stereotype on sex-role"	Scientific Reports・5・14220・14220・2015
2	瀧 靖之	機能画像医学	"Brain structures in the sciences and humanities"	Brain Structure and Function・220・6・3295・3305・2015
3	瀧 靖之	機能画像医学	"Cognitive and neural correlates of the 5-repeat allele of the dopamine D4 receptor gene in a population lacking the 7-repeat allele"	Neuroimage・110・124・135・2015
4	瀧 靖之	機能画像医学	"Comparison of postoperative volume status and hemodynamics between surgical clipping and endovascular coiling in patients after subarachnoid hemorrhage"	Journal of Neurosurgical Anesthesiology・27・1・7・15・2015
5	瀧 靖之	機能画像医学	"Degree centrality and fractional amplitude of low-frequency oscillations associated with Stroop interference"	Neuroimage・119・197・209・2015
6	瀧 靖之	機能画像医学	"Increased Posterior Hippocampal Volumes in Children with Lower Increase in Body Mass Index: A 3-Year Longitudinal MRI Study."	Developmental Neuroscience・37・2・153・160・2015
7	瀧 靖之	機能画像医学	"Individual differences in cognitive performance and brain structure in typically developing children"	Developmental Cognitive Neuroscience・14・1・7・2015
8	瀧 靖之	機能画像医学	"Mean diffusivity of globus pallidus associated with verbal creativity measured by divergent thinking and creativity-related temperaments in young healthy adults"	Human Brain Mapping・36・5・1808・1827・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
9	瀧 靖之	機能画像医学	"Neuroanatomical correlates of the sense of control: Gray and white matter volumes associated with an internal locus of control"	Neuroimage・119・146・151・2015
10	瀧 靖之	機能画像医学	"Postoperative structural brain changes and cognitive dysfunction in patients with breast cancer"	PLoS ONE・10・11・e140655・e140655・2015
11	瀧 靖之	機能画像医学	"Regional gray matter density is associated with morningness-eveningness: evidence from voxel-based morphometry"	Neuroimage・117・294・304・2015
12	瀧 靖之	機能画像医学	"The associations among the dopamine D2 receptor Taq1, emotional intelligence, creative potential measured by divergent thinking, and motivational state and these associations' sex differences"	Frontiers in Psychology・6・912・912・2015
13	瀧 靖之	機能画像医学	"The associations between regional gray matter structural changes and changes of cognitive performance in control groups of intervention studies."	Frontiers in Human Neuroscience・9・681・681・2015
14	瀧 靖之	機能画像医学	"The impact of television viewing on brain structures: Cross-sectional and longitudinal analyses"	Cerebral Cortex・25・5・1188・1197・2015
15	瀧 靖之	機能画像医学	"The relationship between processing speed and regional white matter volume in healthy young people"	PLoS ONE・10・9・e136386・e136386・2015
16	瀧 靖之	機能画像医学	"Transpulmonary thermodilution-based management of neurogenic pulmonary edema after subarachnoid hemorrhage"	American Journal of Medical Sciences・350・5・415・419・2015
17	瀧 靖之	機能画像医学	"Working memory training impacts the mean diffusivity in the dopaminergic system"	Brain Structure and Function・220・6・3101・3311・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
18	笹野 公伸	病理診断学分野	(1)(8)F-FDG-PET-positive adrenal tumour.	BMJ Case Rep・2015・2015209379・2015209379・2015
19	丹田奈緒子	予防歯科	[Current Status of Preoperative Professional Oral Care by Dentists for Elderly Patients Undergoing Lung Resection and Occurrence of Postoperative Pneumonia]	Kyobu Geka・69・1・25・29・2016
20	笹野 公伸	病理診断学分野	11beta-Prostaglandin F2alpha, a bioactive metabolite catalyzed by AKR1C3, stimulates prostaglandin F receptor and induces slug expression in breast cancer.	Mol Cell Endocrinol・413・236・247・2015
21	下川 宏明	循環器内科	2015 ATVB Plenary Lecture: translational research on rho-kinase in cardiovascular medicine.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・35・8・1756・1769・2015
22	笹野 公伸	病理診断学分野	3betaHSD and CYB5A double positive adrenocortical cells during adrenal development/aging.	Endocr Res・40・1・8・13・2015
23	笹野 公伸	病理診断学分野	3beta-hydroxysteroid dehydrogenase isoforms in human aldosterone-producing adenoma.	Mol Cell Endocrinol・408・205・212・2015
24	笹野 公伸	病理診断学分野	5th International ACC Symposium: An Outlook to Current and Future Research on the Biology of Adrenocortical Carcinoma: Diagnostic and Therapeutic Applications.	Horm Cancer・7・1・44・48・2016
25	笹野 公伸	病理診断学分野	8D.02: PERIPHERAL PLASMA 18-OXOCORTISOL CAN DISCRIMINATE UNILATERAL ADENOMA FROM BILATERAL DISEASES IN PRIMARY ALDOSTERONISM PATIENTS.	J Hypertens・33 Suppl 1・e113・e113・2015
26	大田 英揮	放射線部	8D.04: CLINICAL BENEFITS OF ADMINISTERING SUPER-SELECTIVE SEGMENTAL ADRENAL VENOUS SAMPLING AND PERFORMING ADRENAL SPARING SURGERY IN THE PATIENTS WITH PRIMARY ALDOSTERONISM.	J Hypertens・33 Suppl 1・e114・e114・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
27	笹野 公伸	病理診断学分野	A Calcitonin Non-producing Neuroendocrine Tumor of the Thyroid Gland.	Endocr Pathol・2016
28	大田 英揮	放射線部	A case of bilateral aldosterone-producing adenomas differentiated by segmental adrenal venous sampling for bilateral adrenal sparing surgery.	J Hum Hypertens・30・6・349・385・2016
29	笹野 公伸	病理診断学分野	A case of Cushing's syndrome due to bilateral cortisol-secreting adenomas with unilateral DHEAS oversecretion.	Endocr J・62・3・283・288・2015
30	賀来 満夫	総合感染症学分野	A case of Manila type Mycobacterium tuberculosis infection in Japan.	Clin Case Rep・3・7・622・625・2015
31	渡邊 みか	病理部	A case of pulmonary adenocarcinoma harboring osteoclast-like giant cells: Its evaluation by immunohistochemical and genetic analyses.	Pathol Int・66・4・224・229・2016
32	渡邊 みか	病理部	A case of ruptured infectious anterior cerebral artery aneurysm treated by interposition graft bypass using the superficial temporal artery.	Surg Neurol Int・7・5・5・2016
33	森 悦朗	高次機能障害学分野	A comparative study of the extent of cerebral microvascular injury following whole-brain irradiation versus reduced-field irradiation in long-term survivors of intracranial germ cell tumors.	Radiother Oncol・117・2・302・307・2015
34	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	A Curcumin Analog, GO-Y078, Effectively Inhibits Angiogenesis through Actin Disorganization.	Anticancer Agents Med Chem・16・5・633・647・2016
35	山田 哲也	糖尿病代謝内科学分野	A hepatic amino acid/mTOR/S6K-dependent signalling pathway modulates systemic lipid metabolism via neuronal signals.	Nat Commun・6・7940・7940・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
36	今井 淳太	糖尿病代謝科	A hepatic amino acid/mTOR/S6K-dependent signalling pathway modulates systemic lipid metabolism via neuronal signals. Nature Communications.	Nature Communications・6・7940・7940・2015
37	小池 智幸	消化器内科	A multicenter prospective study on the prevalence of Helicobacter pylori-negative and nonsteroidal anti-inflammatory drugs-negative idiopathic peptic ulcers in Japan.	J Gastroenterol Hepatol・30・5・842・848・2015
38	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	A Nationwide Survey of Hepatitis E Virus Infection and Chronic Hepatitis E in Liver Transplant Recipients in Japan	EBIOMEDICINE・2・11・1607・1612・2015
39	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	A novel and sensitive assay for heme oxygenase activity.	Am J Physiol Renal Physiol・309・7・F667・F671・2015
40	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	A novel biodegradable external mesh stent improved long-term patency of vein grafts by inhibiting intimal-medial hyperplasia in an experimental canine model.	Gen Thorac Cardiovasc Surg・64・1・1・9・2016
41	森 士朗	歯科顎口腔外科	A Novel Treatment Method for Lymph Node Metastasis Using a Lymphatic Drug Delivery System with Nano/Microbubbles and Ultrasound	J Cancer・6・12・1282・1294・2015
42	笹野 公伸	病理診断学分野	Abnormal expression of miR-1 in breast carcinoma as a potent prognostic factor.	Cancer Sci・106・11・1642・1650・2015
43	山崎 研志	皮膚科学分野	Abnormal Morphology of Blood Vessels in Erythematous Skin From Atopic Dermatitis Patients.	Am J Dermatopathol・38・5・363・364・2016
44	西宮 健介	循環器内科	Accuracy of optical frequency domain imaging for evaluation of coronary adventitial vasa vasorum formation after stent implantation in pigs and humans - a validation study - .	Circ J・79・6・1323・1331・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
45	渡邊 みか	病理部	Activation of the NRF2 pathway and its impact on the prognosis of anaplastic glioma patients.	Neuro Oncol・17・4・555・565・2015
46	笹野 公伸	病理診断学分野	Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis Following Treatment for Cushing's Syndrome.	Intern Med・55・4・389・394・2016
47	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Acute Pancreatitis-Progress and Challenges: A Report on an International Symposium.	Pancreas・44・8・1195・1210・2015
48	森 悦朗	高次機能障害学分野	Adequacy of Using Consensus Guidelines for Diagnosis of Dementia with Lewy Bodies in Clinical Trials for Drug Development.	Dement Geriatr Cogn Disord・41・1-2・55・67・2016
49	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Adrenocortical Carcinoma: Review of the Pathologic Features, Production of Adrenal Steroids, and Molecular Pathogenesis.	Endocrinol Metab Clin North Am・44・2・399・410・2015
50	藤村 卓	皮膚科学分野	Adult Onset of BRAF(V600E)-Mutated Langerhans Cell Histiocytosis with Cutaneous Involvement Successfully Diagnosed by Immunohistochemical Staining.	Case Rep Dermatol・7・3・237・240・2015
51	笹野 公伸	病理診断学分野	Aldosterone biosynthesis in the human adrenal cortex and associated disorders.	J Steroid Biochem Mol Biol・153・57・62・2015
52	笹野 公伸	病理診断学分野	Aldosterone-producing adrenocortical carcinoma with prominent hepatic metastasis diagnosed by liver biopsy: a case report.	BMC Endocr Disord・16・3・3・2016
53	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Alteration of the Intestinal Environment by Lubiprostone Is Associated with Amelioration of Adenine-Induced CKD.	J Am Soc Nephrol・26・8・1787・1794・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	森 悦朗	高次機能障害学分野	Amyloid deposits and response to shunt surgery in idiopathic normal-pressure hydrocephalus.	J Neurol Sci・356・1-2・124・128・2015
55	中澤 徹	眼科学分野	An assessment of driving fitness in patients with visual impairment to understand the elevated risk of motor vehicle accidents.	BMJ Open・5・2・6379・6379・2015
56	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	An evaluation of the safety of pure laparoscopic hepatectomy in patients with liver cirrhosis: investigations including serum albumin and ascites.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech・25・3・209・211・2015
57	井樋 栄二	整形外科学分野	Anatomy of the capsulolabral complex and rotator interval related to glenohumeral instability.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc・24・2・343・349・2016
58	笹野 公伸	病理診断学分野	Androgen receptor and enzymes in lymph node metastasis and cancer reoccurrence in triple-negative breast cancer.	Int J Biol Markers・30・2・e184・e189・2015
59	笹野 公伸	病理診断学分野	Androgen receptor, androgen-producing enzymes and their transcription factors in extramammary Paget disease.	Hum Pathol・46・11・1662・1669・2015
60	笹野 公伸	病理診断学分野	Anterior gradient 2 is correlated with EGFR mutation in lung adenocarcinoma tissues.	Int J Biol Markers・30・2・e234・e242・2015
61	館 正弘	形成外科学分野	Anti-Allergic Drugs Tranilast and Ketotifen Dose-Dependently Exert Mast Cell-Stabilizing Properties.	Cell Physiol Biochem・38・1・15・27・2016
62	橋本 潤一郎	腎・高血圧・内分泌学分野	Aortic Blood Flow Reversal Determines Renal Function: Potential Explanation for Renal Dysfunction Caused by Aortic Stiffening in Hypertension	Hypertension・66・1・61・67・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
63	井樋 栄二	整形外科学分野	Apatite Formation and Biocompatibility of a Low Young's Modulus Ti-Nb-Sn Alloy Treated with Anodic Oxidation and Hot Water.	PLoS One・11・2・e0150081・e0150081・2016
64	齋藤 幹	小児歯科	Application of a tooth-surface coating material containing pre-reacted glass-ionomer fillers for caries prevention	Pediatric Dental Journal・25・3・72・78・2015
65	井樋 栄二	整形外科学分野	Arm Abduction Provides a Better Reduction of the Bankart Lesion During Immobilization in External Rotation After an Initial Shoulder Dislocation.	Am J Sports Med・43・7・1731・1736・2015
66	井樋 栄二	整形外科学分野	Arthroscopic Treatment of Septic Arthritis of the Elbow in a 4-Year-Old Girl.	Case Rep Orthop・2015・853974・853974・2015
67	武田 賢	放射線治療学分野	Assessment of myocardial metabolic disorder associated with mediastinal radiotherapy for esophageal cancer -a pilot study	Radiat Oncol・10・96・96・2015
68	高山 真	総合地域医療教育支援部/ 漢方内科	Assessment of Short-Term Changes in Optic Nerve Head Hemodynamics in Hyperoxic Conditions with Laser Speckle Flowgraphy.	Curr Eye Res・40・10・1055・1062・2015
69	井樋 栄二	整形外科学分野	Association between acromioclavicular joint pain and capsular bulging in adolescent baseball players.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc・2015
70	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Association Between Home Blood Pressure and Body Composition by Bioimpedance Monitoring in Patients Undergoing Peritoneal Dialysis.	Adv Perit Dial・31・38・44・2015
71	渡邊 みか	病理部	Association between molecular alterations and tumor location and MRI characteristics in anaplastic gliomas.	Brain Tumor Pathol・32・2・99・104・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
72	西宮 健介	循環器内科	Association of Adventitial Vasa Vasorum and Inflammation With Coronary Hyperconstriction After Drug-Eluting Stent Implantation in Pigs In Vivo.	Circ J・79・8・1787・1798・2015
73	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Attainment of a Long-term Favorable Outcome by Sunitinib Treatment for Pancreatic Neuroendocrine Tumor and Renal Cell Carcinoma Associated with von Hippel-Lindau Disease.	Intern Med・55・6・629・634・2016
74	鈴木 康太	循環器内科	Basigin Promotes Cardiac Fibrosis and Failure in Response to Chronic Pressure Overload in Mice	Arterioscler Thromb Vasc Biol・36・4・636・646・2016
75	西宮 健介	循環器内科	Beneficial Effects of a Novel Bioabsorbable Polymer Coating on Enhanced Coronary Vasoconstricting Responses After Drug-Eluting Stent Implantation in Pigs in Vivo.	JACC Cardiovasc Interv・9・3・281・291・2016
76	井樋 栄二	整形外科学分野	Benign thoracic dumbbell tumor can be removed through hemilaminectomy and facetectomy without spinal reconstruction.	J Neurosurg Sci・60・1・145・148・2016
77	笹野 公伸	病理診断学分野	Beyond the C18 frontier: Androgen and glucocorticoid metabolism in breast cancer tissues: The role of non-typical steroid hormones in breast cancer development and progression.	Steroids・103・115・122・2015
78	神戸 茂雄	循環器内科	Biguanide-associated severe lactic acidosis dramatically recovered by thiamine supplementation: a case report	Int Med・2016
79	正宗 淳	消化器病態学分野	Bismuth classification is associated with the requirement for multiple biliary drainage in preoperative patients with malignant perihilar biliary stricture	Surg. Endosc.・29・7・1862・1870・2015
80	井樋 栄二	整形外科学分野	Blood flow changes of the anterior humeral circumflex artery decrease with the scapula in internal rotation.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc・23・5・1467・1472・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
81	末永華子	予防歯科	Bone metabolism induced by denture insertion in positron emission tomography.	J Oral Rehabil.・43・3・198・204・2016
82	井樋 栄二	整形外科科学分野	Bone mineral density of postmenopausal women with rheumatoid arthritis depends on disease duration regardless of treatment.	J Bone Miner Metab・2015
83	井樋 栄二	整形外科科学分野	Calcific myonecrosis arising in the bilateral deltoid muscles: A case report.	J Orthop Sci・S0949-2658・15・00145-1・2016
84	森 悦朗	高次機能障害学分野	Callosal Disconnection Syndrome Associated with Relapsing Polychondritis.	Intern Med・55・9・1191・1193・2016
85	舘脇 康子	加齢核医学科	Canadian CT head rule and New Orleans Criteria in mild traumatic brain injury: comparison at a tertiary referral hospital in Japan.	Springerplus・5・176・176・2016
86	渡邊 みか	病理部	CD40/CD40L expression correlates with the survival of patients with glioblastomas and an augmentation in CD40 signaling enhances the efficacy of vaccinations against glioma models.	Neuro Oncol・17・11・1453・1462・2015
87	新妻 邦泰	神経外科学分野	Cerebral Blood Flow after Acute Bypass with Parent Artery Trapping in Patients with Ruptured Supraclinoid Internal Carotid Artery Aneurysms.	J Stroke Cerebrovasc Dis・24・10・2358・2368・2015
88	小関健由	予防歯科	Changes in Cognitive Functions in the Elderly Living in Temporary Housing after the Great East Japan Earthquake.	PLoS One・11・1::e0147025::e0147025・2016
89	井樋 栄二	整形外科科学分野	Changes in lumbar spondylolisthesis on axial-loaded MRI: do they reproduce the positional changes in the degree of olisthesis observed on X-ray images in the standing position?	Spine J・15・6・1255・1262・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Characteristics of symptomatic reflux episodes in Japanese proton pump inhibitor-refractory non-erosive reflux disease patients.	World J Gastroenterol・21・47・13352・13359・2015
91	武田 賢	放射線治療学分野	Chemoradiotherapy for T4 and/or M1 lymph node esophageal cancer: experience since 2000 at a high-volume center in Japan	Int J Clin Oncol・21・2・276・282・2016
92	渡邊 みか	病理部	Chemotherapy with Gemcitabine and Cisplatin for Advanced Ductal Adenocarcinoma of the Prostate: Clinical Courses of Two Patients.	Tohoku J Exp Med・237・4・317・321・2015
93	館 正弘	形成外科学分野	Chlorpromazine-induced changes in membrane micro-architecture inhibit thrombopoiesis in rat megakaryocytes.	Biochim Biophys Acta・1848・11 Pt A・2805・2812・2015
94	井樋 栄二	整形外科学分野	Chondrogenic and fibrotic process in the ligamentum flavum of patients with lumbar spinal canal stenosis.	Spine (Phila Pa 1976)・40・7・429・435・2015
95	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Chronic lupus peritonitis is characterized by the ascites with a large content of interleukin-6.	Tohoku J Exp Med・235・4・289・294・2015
96	伊藤 大亮	総合地域医療教育支援部	Chronic Running Exercise Alleviates Early Progression of Nephropathy with Upregulation of Nitric Oxide Synthases and Suppression of Glycation in Zucker Diabetic Rats	PLoS One・10・9・e0138037・e0138037・2015
97	鈴木 秀明	循環器内科	Chronic thromboembolic pulmonary hypertension and schizophrenia.	Int J Cardiol・207・363・364・2016
98	濱田 晋	消化器病態学分野	Circulating miR-483-3p and miR-21 is highly expressed in plasma of pancreatic cancer	Int. J. Oncol.・46・2・539・547・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
99	笹野 公伸	病理診断学分野	Clinical and Steroidogenic Characteristics of Aldosterone-Producing Adenomas With ATPase or CACNA1D Gene Mutations.	J Clin Endocrinol Metab・101・2・494・503・2016
100	森 悦朗	高次機能障害学分野	Clinical characteristics of idiopathic normal pressure hydrocephalus with Lewy body diseases.	J Neurol Sci・359・1-2・309・311・2015
101	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Clinical characteristics of Japanese patients with severe hypertriglyceridemia.	J Clin Lipidol・9・4・519・524・2015
102	羽尾 清貴	循環器内科	Clinical Characteristics of Patients With Acute Myocardial Infarction Who Did Not Undergo Primary Percutaneous Coronary Intervention- Report From the MIYAGI-AMI Registry Study.	Circ J・79・9・2009・2016・2015
103	中島 一郎	神経内科学分野	Clinical features and long-term outcome of a group of Japanese children with inflammatory central nervous system disorders and seropositivity to myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibodies.	Brain Dev・37・9・849・852・2015
104	坂田 泰彦	循環器内科	Clinical impacts of additive use of olmesartan in hypertensive patients with chronic heart failure: the supplemental benefit of an angiotensin receptor blocker in hypertensive patients with stable heart failure using olmesartan (SUPPORT) trial.	Eur Heart J・36・15・915・923・2015
105	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Clinical outcome of renal artery stenting for hypertension and chronic kidney disease up to 12 months in the J-RAS Study - prospective, single-arm, multicenter clinical study.	Circ J・79・2・351・359・2015
106	笹野 公伸	病理診断学分野	Clinical significance of subtype classification in metastatic lymph nodes of breast cancer patients undergoing neoadjuvant chemotherapy.	Int J Biol Markers・30・2・e174・e183・2015
107	笹野 公伸	病理診断学分野	Clinical significance of the expression of autophagy-associated marker, beclin 1, in breast cancer patients who received neoadjuvant endocrine therapy.	BMC Cancer・16・230・230・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
108	渡邊 みか	病理部	Clinicopathological features of melanotic neuroectodermal tumor of infancy: Report of two cases.	Auris Nasus Larynx・43・4・451・454・2016
109	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Clinicopathological Features of Type 2 Autoimmune Pancreatitis in Japan: Results of a Multicenter Survey.	Pancreas・44・7・1072・1077・2015
110	笹野 公伸	病理診断学分野	c-Met in esophageal squamous cell carcinoma: an independent prognostic factor and potential therapeutic target.	BMC Cancer・15・451・451・2015
111	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	Color of intra-ocular lens and cataract type are prognostic determinants of health indices after visual and photoreceptive restoration by surgery.	Rejuvenation Res.・18・2・145・152・2015
112	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Colorectal endoscopic submucosal dissection (ESD) performed by experienced endoscopists with limited experience in gastric ESD.	Int J Colorectal Dis・30・12・1645・1652・2015
113	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Combined Immunohistochemistry of PLK1, p21, and p53 for Predicting TP53 Status: An Independent Prognostic Factor of Breast Cancer.	Am J Surg Pathol・39・8・1026・1034・2015
114	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Common variants at PRSS1-PRSS2 and CLDN2-MORC4 loci associate with chronic pancreatitis in Japan.	Gut・64・8・1345・1346・2015
115	森 士朗	歯科顎口腔外科	Communication between lymphatic and venous systems in mice	J Immunol Methods・424・100・105・2015
116	武田 賢	放射線治療学分野	Comparative Effect of Different Respiratory Motion Management Systems	Med Phys・42・6・3309・3309・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
117	井樋 栄二	整形外科学分野	Comparative study of treatment for distal radius fractures with two different palmar locking plates.	J Hand Surg Eur Vol・41・5・536・542・2016
118	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Comparison of neutrophil infiltration between type 1 and type 2 autoimmune pancreatitis.	Pancreatology・15・3・271・280・2015
119	武田 賢	放射線治療学分野	Comparison of visual biofeedback system with a guiding waveform and abdomen and chest motion self-control system for respiratory motion management	Journal of Radiation Research・57・4・387・392・2016
120	土橋 卓	放射線治療学分野	Comparison of visual biofeedback system with a guiding waveform and abdomen-chest motion self-control system for respiratory motion management.	J Radiat Res・57・4・387・392・2016
121	正宗 淳	消化器病態学分野	Comprehensive Analysis of Serum microRNAs in Autoimmune Pancreatitis	Digestion・91・4・263・271・2015
122	佐藤 公雄	循環器内科	Comprehensive Risk Stratification of Japanese Patients With Aortic Stenosis--A Proposal of a New Risk Score From the CHART-2 Study.	Circ J・79・7・1631・1638・2015
123	齋藤 幹	小児歯科	Connexin 43 is necessary for salivary gland branching morphogenesis and FGF10-induced ERK1/2 phosphorylation	The Journal of Biological Chemistry・291・2・904・912・2016
124	新妻 邦泰	神経外科学分野	Consistent delayed unilateral neuronal death after modified transient focal cerebral ischemia in mice that mimics neuronal injury after transient global cerebral ischemia.	J Neurosurg・123・1・243・253・2015
125	藤村 卓	皮膚科学分野	Contact immunotherapy enhances the therapeutic effects of nivolumab in treating in-transit melanoma: Two cases reports.	J Dermatol・43・6・686・689・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
126	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Continuous flow left ventricular assist device implantation concomitant with aortic arch replacement and aortic valve closure in a patient with end-stage heart failure associated with bicuspid aortic valve.	J Artif Organs・18・4・365・369・2015
127	高橋 実	加齢歯科学分野	Contribution of each masticatory muscle to the bite force determined by magnetic resonance imaging using a novel metal-free bite force gauge and an index of total muscle activity	J Magn Reson Imaging・44・4・804・813・2016
128	館 正弘	形成外科学分野	Contribution of Invariant Natural Killer T Cells to Skin Wound Healing.	Am J Pathol・185・12・3248・3257・2015
129	笹野 公伸	病理診断学分野	Correlation of miRNA expression profiling in surgical pathology materials, with Ki-67, HER2, ER and PR in breast cancer patients.	Int J Biol Markers・30・2・e190・e199・2015
130	賀来 満夫	総合感染症学分野	Correlations between extent of X-ray infiltration and levels of serum C-reactive protein in adult non-severe community-acquired pneumonia.	J Infect Chemother・21・6・456・463・2015
131	割田 仁	神経内科学分野	Corticotropin-Releasing Hormone Receptor 2 Gene Variants in Irritable Bowel Syndrome.	PLoS One・11・1・e0147817・e0147817・2016
132	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Cost-Effectiveness Analysis of the Diagnosis and Treatment of Primary Aldosteronism in Japan.	Horm Metab Res・47・11・826・832・2015
133	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Current use of active surveillance for localized prostate cancer: A nationwide survey in Japan.	Int J Urol・22・8・754・759・2015
134	笹野 公伸	病理診断学分野	Cushing Syndrome Due to ACTH-Secreting Pheochromocytoma, Aggravated by Glucocorticoid-Driven Positive-Feedback Loop.	J Clin Endocrinol Metab・101・3・841・846・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
135	森 悦朗	高次機能障害学分野	Damage to the Left Precentral Gyrus Is Associated With Apraxia of Speech in Acute Stroke.	Stroke・47・1・31・36・2016
136	山田 哲也	糖尿病代謝内科学分野	Dapagliflozin, a Sodium-Glucose Co-Transporter 2 Inhibitor, Acutely Reduces Energy Expenditure in BAT via Neural Signals in Mice.	PLoS One・11・3・e0150756・e0150756・2016
137	下瀬川 徹	消化器病態学分野	De novo Crohn's disease following orthotopic liver transplantation: a case report and literature review.	Intern Med・54・2・199・204・2015
138	井樋 栄二	整形外科学分野	Decreased elastic fibers and increased proteoglycans in the ligamentum flavum of patients with lumbar spinal canal stenosis.	J Orthop Res・34・7・1241・1247・2016
139	笹野 公伸	病理診断学分野	Decreased expression of ARID1A contributes to infiltrative growth of esophageal squamous cell carcinoma.	Tohoku J Exp Med・235・3・185・191・2015
140	森 士朗	歯科顎口腔外科	Delivery of Molecules to the Lymph Node via Lymphatic Vessels Using Ultrasound and Nano/Microbubbles	Ultrasound Med Biol・41・5・1411・1421・2015
141	中島 一郎	神経内科学分野	Depressive state and chronic fatigue in multiple sclerosis and neuromyelitis optica.	J Neuroimmunol・283・70・73・2015
142	橋本 潤一郎	腎・高血圧・内分泌学分野	Detection of Segmental Renal Ischemia by Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging: Clinical Utility for Diagnosis of Renovascular Hypertension	J Clin Hypertens (Greenwich)・18・4・364・365・2016
143	森 悦朗	高次機能障害学分野	Diagnostic accuracy of 123I-meta-iodobenzylguanidine myocardial scintigraphy in dementia with Lewy bodies: a multicenter study.	PLoS One・10・3・e0120540・e0120540・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
144	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Diagnostic strategy and timing of intervention in infected necrotizing pancreatitis: an international expert survey and case vignette study.	HPB (Oxford)・18・1・49・56・2016
145	森 悦朗	高次機能障害学分野	Differential activation of the ventromedial prefrontal cortex between male and female givers of social reputation.	Neurosci Res・103・27・33・2016
146	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Differential Expression of CX3CL1 in Hepatitis B Virus-Replicating Hepatoma Cells Can Affect the Migration Activity of CX3CR1+ Immune Cells.	J Virol・89・14・7016・7027・2015
147	森 士朗	歯科顎口腔外科	Direct Delivery of a Cytotoxic Anticancer Agent into the Metastatic Lymph Node Using Nano/Microbubbles and Ultrasound	PLoS One・10・4・e0123619・e0123619・2015
148	井樋 栄二	整形外科学分野	Direct evidence linking DNA methylation status to IL8 expression in osteoarthritis	INTERNATIONAL JOURNAL OF EXPERIMENTAL PATHOLOGY・96・2・A6・A7・2015
149	森 悦朗	高次機能障害学分野	Disease duration: the key to accurate CSF tap test in iNPH.	Acta Neurol Scand・2016
150	神戸 茂雄	循環器内科	Disruption of Physiological Balance Between Nitric Oxide and Endothelium-Dependent Hyperpolarization Impairs Cardiovascular Homeostasis in Mice.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・36・1・97・107・2016
151	館 正弘	形成外科学分野	Distraction osteogenesis of the sternum for thoracic expansion in a severe case of jeune syndrome: a preliminary report.	J Plast Surg Hand Surg・50・3・180・183・2016
152	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	DNA methylation profile to predict clinical outcome of anti-EGFR treatment in metastatic colorectal cancer.	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY・33・15・e14574・e14574・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
153	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	DNA methylation status as a biomarker of anti-epidermal growth factor receptor treatment for metastatic colorectal cancer.	Cancer Sci・106・12・1722・1729・2015
154	仁尾 正紀	小児外科	Does hepatic hilum morphology influence long-term prognosis in type I/I cyst biliary atresia?	Pediatr Surg Int.・31・10・931・936・2015
155	森 悦朗	高次機能障害学分野	Donepezil for dementia with Lewy bodies: a randomized, placebo-controlled, confirmatory phase III trial.	Alzheimers Res Ther・7・1・4・4・2015
156	土橋 卓	放射線治療学分野	Dosimetric impact of 4-dimensional computed tomography ventilation imaging-based functional treatment planning for stereotactic body radiation therapy with 3-dimensional conformal radiation therapy.	Pract Radiat Oncol・5・5・e505・e512・2015
157	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Dynamic multidetector CT and non-contrast-enhanced MR for right adrenal vein imaging: comparison with catheter venography in adrenal venous sampling.	Eur Radiol・26・3・622・630・2016
158	森 士朗	歯科顎口腔外科	Early diagnosis of lymph node metastasis: importance of intranodal pressures	Cancer Sci・107・3・224・232・2016
159	高橋 潤	循環器内科	Earthquake, cardiovascular diseases and implications for public health. In Watson RR, Tabor JA, Ehiri JE, Preedy(eds.)	Handbook of Public Health in Natural Disasters・309・333・2015
160	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effect of Behavior Modification on Outcome in Early- to Moderate-Stage Chronic Kidney Disease: A Cluster-Randomized Trial.	PLoS One・11・3・e0151422・e0151422・2016
161	大西 康	血液・免疫科	Effect of Granulocyte Colony-Stimulating Factor-Combined Conditioning in Cord Blood Transplantation for Myelodysplastic Syndrome and Secondary Acute Myeloid Leukemia: A Retrospective Study in Japan.	Biol Blood Marrow Transplant・21・9・1632・1640・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
162	佐竹 洋之	循環器内科	Effect of Respiratory Therapy on the Prognosis of Chronic Heart Failure Patients Complicated With Sleep-Disordered Breathing - A Pilot Efficacy Trial.	Circ J・80・1・130・138・2016
163	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Effect of valsalva in the pulmonary prosthetic conduit valve on hemodynamic function in a mock circulatory system.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc・2015・278・281・2015
164	仁尾 正紀	小児外科	Effects of age at Kasai portoenterostomy on the surgical outcome: a review of the literature.	Surgery Today・45・7・813・818・2015
165	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Effects of ALDH2 genotype, PPI treatment and L-cysteine on carcinogenic acetaldehyde in gastric juice and saliva after intragastric alcohol administration.	PLoS One・10・4・e0120397・e0120397・2015
166	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effects of blood pressure on renal and cardiovascular outcomes in Asian patients with type 2 diabetes and overt nephropathy: a post hoc analysis (ORIENT-blood pressure).	Nephrol Dial Transplant・31・3・447・454・2016
167	森 悦朗	高次機能障害学分野	Effects of Donepezil on Extrapyrarnidal Symptoms in Patients with Dementia with Lewy Bodies: A Secondary Pooled Analysis of Two Randomized-Controlled and Two Open-Label Long-Term Extension Studies.	Dement Geriatr Cogn Disord・40・3・4・186・198・2015
168	井樋 栄二	整形外科学分野	Effects of intra-articular steroid injection before pan-capsular release in patients with refractory frozen shoulder.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc・23・5・1536・1541・2015
169	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effects of RXR Agonists on Cell Proliferation/Apoptosis and ACTH Secretion/Pomc Expression.	PLoS One・10・12・e0141960・e0141960・2015
170	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Efficacy and Safety Assessment of Paclitaxel in Patients with Docetaxel-Resistant Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Chemotherapy・61・5・262・268・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
171	杉野 繁一	手術部	Efficacy and Safety of a Lidocaine and Ropivacaine Mixture for Scalp Nerve Block and Local Infiltration Anesthesia in Patients Undergoing Awake Craniotomy.	J Neurosurg Anesthesiol・28・1・1・5・2016
172	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Efficacy and Safety of Carboplatin and Etoposide Combination Chemotherapy for Extrapulmonary Neuroendocrine Carcinoma: A Retrospective Case Series.	Chemotherapy・61・3・111・116・2016
173	井樋 栄二	整形外科学分野	Efficacy of methotrexate and tumor necrosis factor inhibitors in Japanese patients with active psoriatic arthritis.	Mod Rheumatol・25・3・431・434・2015
174	大西 康	血液・免疫科	Efficiency of high-dose cytarabine added to CY/TBI in cord blood transplantation for myeloid malignancy.	Blood・126・3・415・422・2015
175	井樋 栄二	整形外科学分野	Elderly-onset degenerative "lumbar spondylotic myelopathy" in a patient with a low-placed spinal cord successfully treated by laminotomy: a case report.	Clin Case Rep・3・12・1021・1025・2015
176	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Elucidation of the etiology and characteristics of pink urine in young healthy subjects.	Clin Exp Nephrol・19・5・822・829・2015
177	小池 智幸	消化器内科	Endoscopic findings for predicting gastric acid secretion status.	Dig Endosc・27・5・582・589・2015
178	西宮 健介	循環器内科	Enhanced Adventitial Vasa Vasorum Formation in Patients With Vasospastic Angina: Assessment With OFDI.	J Am Coll Cardiol・67・5・598・600・2016
179	藤村 卓	皮膚科学分野	Epidermotropic diffuse large B-cell lymphoma infiltrating the umbilicus, presenting as Sister Mary Joseph's nodule.	J Eur Acad Dermatol Venereol・30・9・1622・1624・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
180	森 士朗	歯科顎口腔外科	Epigallocatechin gallate stimulates the neuroreactive salivary secretomotor system in autoimmune sialadenitis of MRL-Faspr mice via activation of cAMP-dependent protein kinase A and inactivation of nuclear factor $\kappa$ B	Autoimmunity・48・6・379・388・2015
181	井樋 栄二	整形外科学分野	Epigenetic regulation of interleukin-8, an inflammatory chemokine, in osteoarthritis.	Osteoarthritis Cartilage・23・11・1946・1954・2015
182	渡邊 みか	病理部	Erdheim-Chester disease: yellow-tinge appearance on neuroendoscopic imaging.	Neurol Sci・36・11・2159・2160・2015
183	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Erratum to: FCGR3A-158 polymorphism influences the biological response to infliximab in Crohn's disease through affecting the ADCC activity.	Immunogenetics・67・9・545・545・2015
184	笠島 敦子	病理診断学分野	Erratum to: Peritumoral apparent diffusion coefficients for prediction of lymphovascular invasion in clinically node-negative invasive breast cancer.	Eur Radiol・26・2・340・341・2016
185	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Erythropoietin Synthesis in Renal Myofibroblasts Is Restored by Activation of Hypoxia Signaling.	J Am Soc Nephrol・27・2・428・438・2016
186	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Esomeprazole inhibits the pentagastrin-stimulated secretion of gastric acid in healthy Japanese volunteers.	Tohoku J Exp Med・235・3・249・253・2015
187	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	Evaluation of a newly developed piezo actuator-driven pulsed water jet system for liver resection in a surviving swine animal model.	Biomed Eng Online・15・9・9・2016
188	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evaluation of Kampo medicine in the clinical practice guideline for irritable bowel syndrome.	J Gastroenterol・50・7・817・818・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
189	武田 賢	放射線治療学分野	Evaluation of patient DVH-based QA metrics for prostate VMAT: correlation between accuracy of estimated 3D patient dose and magnitude of MLC misalignment	J Appl Clin Med Phys・16・3・5251・5251・2015
190	武田 賢	放射線治療学分野	Evaluation of Patient DVH-Based QA Metrics for Prostate VMAT: Correlation Between Accuracy of Estimated 3D Patient Dose and MLC Position Error	Med Phys・42・6・3629・3629・2015
191	井樋 栄二	整形外科学分野	Evaluation of the thickness of the medial ulnar collateral ligament in junior high and high school baseball players.	J Med Ultrason (2001)・42・3・395・400・2015
192	館 正弘	形成外科学分野	Evaluation of an advanced pressure ulcer management protocol followed by trained wound,ostimy,an continence nurses:anon-randomized controlled trial	Chronic Wound Care Management and Research・2015・2・39・51・2015
193	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for chronic pancreatitis 2015.	J Gastroenterol・51・2・85・92・2016
194	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for nonalcoholic fatty liver disease/nonalcoholic steatohepatitis.	Hepato Res・45・4・363・377・2015
195	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for nonalcoholic fatty liver disease/nonalcoholic steatohepatitis.	J Gastroenterol・50・4・364・377・2015
196	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Evidence-based clinical practice guidelines for peptic ulcer disease 2015.	J Gastroenterol・51・3・177・194・2016
197	森 悦朗	高次機能障害学分野	Executive Dysfunction in Patients with Putaminal Hemorrhage.	J Stroke Cerebrovasc Dis・24・9・1978・1985・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
198	新妻 邦泰	神経外科学分野	Experimental model of small subcortical infarcts in mice with long-lasting functional disabilities.	Brain Res・1629・318・328・2015
199	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Extracorporeal Shock Wave Therapy for Digital Ulcers of Systemic Sclerosis: A Phase 2 Pilot Study.	Tohoku J Exp Med・238・1・39・47・2016
200	笹野 公伸	病理診断学分野	Extraordinarily high aldosterone, 901.0 ng/dL, in a patient with primary aldosteronism: an insight into the underlying mechanism.	Endocr J・63・2・127・133・2016
201	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Feasibility of optical coherence tomography for the evaluation of Barrett's mucosa buried underneath esophageal squamous epithelium.	Dig Endosc・2015
202	賀来 満夫	総合感染症学分野	First confirmed case of spondylodiscitis with epidural abscess caused by Parvimonas micra.	J Infect Chemother・21・11・828・830・2015
203	武田 賢	放射線治療学分野	Formula corrected maximal standardized uptake value in FDG-PET for partial volume effect and motion artifact is not a prognostic factor in stage I non-small cell lung cancer treated with stereotactic body radiotherapy	Ann Nucl Med・29・8・666・673・2015
204	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Functional Complementation Assay for 47 MUTYH Variants in a MutY-Disrupted Escherichia Coli Strain.	Hum Mutat・36・7・704・711・2015
205	小池 智幸	消化器内科	G-cell hyperplasia of the stomach induces ECL-cell proliferation in the pyloric glands in a paracrine manner.	Pathol Int・65・5・259・263・2015
206	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Gene-expression profiles correlate with the efficacy of anti-EGFR therapy and chemotherapy for colorectal cancer.	Int J Clin Oncol・20・6・1147・1155・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
207	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Genetic Polymorphisms of <i>CYP2A6</i> in a Case-Control Study on Bladder Cancer in Japanese Smokers.	Biol Pharm Bull・39・1・84・89・2016
208	割田 仁	神経内科学分野	Genetic profile for suspected dysferlinopathy identified by targeted next generation sequencing	Neurol Genet・1・4・e36・e36・2015
209	割田 仁	神経内科学分野	Genotype-phenotype relationships in familial ALS with FUS/TLS mutations in Japan.	Muscle Nerve・54・3・398・404・2016
210	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Geographic differences in low-dose aspirin-associated gastroduodenal mucosal injury.	World J Gastroenterol・21・25・7709・7717・2015
211	笹野 公伸	病理診断学分野	GERMLINE DELETION OF ARMC5 IN FAMILIAL PRIMARY MACRONODULAR ADRENAL HYPERPLASIA.	Endocr Pract・21・10・1152・1160・2015
212	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Glucose and Insulin Response to Peritoneal Dialysis Fluid in Diabetic and Nondiabetic Peritoneal Dialysis Patients.	Adv Perit Dial・31・11・16・2015
213	杉野 繁一	手術部	G $\alpha$ 14 subunit-mediated inhibition of voltage-gated Ca <sup>2+</sup> and K <sup>+</sup> channels via neurokinin-1 receptor in celiac-superior mesenteric ganglion neurons	J Neurophysiol・115・3・1577・1586・2015
214	下川 宏明	循環器内科	Heart failure as a general pandemic in Asia.	Eur J Heart Fail・17・9・884・892・2015
215	浅野 直喜	消化器内科	Helicobacter pylori-negative gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphomas: A review	World Journal of Gastroenterology・21・26・8014・8020・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
216	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Helicobacter pylori-negative gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphomas: A review.	World J Gastroenterol・21・26・8014・8020・2015
217	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Hemodynamics of a functional centrifugal-flow total artificial heart with functional atrial contraction in goats.	J Artif Organs・19・1・8・13・2016
218	渡邊 みか	病理部	Heparin-responsive angiopathy in the central nervous system caused by intravascular large B-cell lymphoma.	J Neurol Sci・352・1-2・117・119・2016
219	森 士朗	歯科顎口腔外科	High-Accuracy Ultrasound Contrast Agent Detection Method for Diagnostic Ultrasound Imaging Systems	Ultrasound Med Biol・41・12・3120・3130・2015
220	新妻 邦泰	神経外科学分野	High-grade Cerebral Arteriovenous Malformation Treated with Targeted Embolization of a Ruptured Site: Wall Enhancement of an Intranidal Aneurysm as a Sign of Ruptured Site.	Neurol Med Chir (Tokyo)・55・10・813・817・2015
221	中島 一郎	神経内科学分野	Highly encephalitogenic aquaporin 4-specific T cells and NMO-IgG jointly orchestrate lesion location and tissue damage in the CNS.	Acta Neuropathol・130・6・783・798・2015
222	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	High-Throughput siRNA Screening to Reveal GATA-2 Upstream Transcriptional Mechanisms in Hematopoietic Cells	PLoS One・10・9・e0137079・e0137079・2015
223	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Human CD43+ B cells are closely related not only to memory B cells phenotypically but also to plasmablasts developmentally in healthy individuals.	Int Immunol・27・7・345・355・2015
224	笹野 公伸	病理診断学分野	Hypoelectrolytic isoosmotic solution for infusion prevents saline-induced ultrastructural artifacts of renal biopsy specimens.	Pathol Int・65・7・374・378・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
225	井樋 栄二	整形外科科学分野	Identification of a progenitor cell population destined to form fracture fibrocartilage callus in Dickkopf-related protein 3-green fluorescent protein reporter mice.	J Bone Miner Metab・2015
226	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Identification of a subgroup with worse prognosis among patients with poor-risk testicular germ cell tumor.	Int J Urol・22・10・923・927・2015
227	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Identifying the Adamkiewicz artery using 3-T time-resolved magnetic resonance angiography: its role in addition to multidetector computed tomography angiography.	Jpn J Radiol・33・12・749・756・2015
228	下瀬川 徹	消化器病態学分野	IgG4-unrelated type 1 autoimmune pancreatitis.	World J Gastroenterol・21・33・9808・9816・2015
229	笹野 公伸	病理診断学分野	Immunolocalization of thymidylate synthase as a favorable prognostic marker in estrogen receptor-positive breast carcinoma.	Histol Histopathol・30・10・1223・1232・2015
230	高木 清司	病理検査学分野	Immunolocalization of thymidylate synthase as a favorable prognostic marker in estrogen receptor-positive breast carcinoma.	Histol Histopathol・30・10・1223・1232・2015
231	藤村 卓	皮膚科学分野	Immunomodulatory effect of peritumorally administered interferon-beta on melanoma through tumor-associated macrophages.	Oncoimmunology・4・11・e1047584・e1047584・2015
232	相場 節也	皮膚科学分野	Immunomodulatory effects of peplomycin on immunosuppressive and cytotoxic cells in the lesional skin of cutaneous squamous cell carcinoma.	Dermatology・230・3・250・255・2015
233	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Immuno-Northern Blotting: Detection of RNA Modifications by Using Antibodies against Modified Nucleosides.	PLoS One・10・11・e0143756・e0143756・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
234	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Impact of Small Renal Ischemia in Hypertension Development: Renovascular Hypertension Caused by Small Branch Artery Stenosis.	J Clin Hypertens (Greenwich)・18・3・248・249・2016
235	賀来 満夫	総合感染症学分野	Impact of the Seven-valent Pneumococcal Conjugate Vaccine on Acute Otitis Media in Japanese Children: Emergence of Serotype 15A Multidrug-resistant Streptococcus pneumoniae in Middle Ear Fluid Isolates.	Pediatr Infect Dis J・34・9・e217・e221・2015
236	角谷 倫之	放射線部	Impact of tumor attachment to the pleura measured by a pretreatment CT image on outcome of stage I NSCLC treated with stereotactic body radiotherapy.	Radiat Oncol・10・35・35・2015
237	山田 哲也	糖尿病代謝内科学分野	Impacts of the Great East Japan Earthquake on diabetic patients.	J Diabetes Investig.・6・5・577・586・2015
238	井樋 栄二	整形外科学分野	Impaired Fracture Healing Caused by Deficiency of the Immunoreceptor Adaptor Protein DAP12.	PLoS One・10・6・e0128210・e0128210・2015
239	正宗 淳	消化器病態学分野	Impaired glucose tolerance in acute pancreatitis	World J. Gastroenterol.・21・24・7367・7374・2015
240	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Impaired glucose tolerance in acute pancreatitis.	World J Gastroenterol・21・24・7367・7374・2015
241	牛込 亮一	循環器内科	Improved Long-Term Prognosis of Dilated Cardiomyopathy With Implementation of Evidenced-Based Medication - Report From the CHART Studies -	Circ J・79・6・1332・1341・2015
242	下瀬川 徹	消化器病態学分野	In oesophageal squamous cells, nitric oxide causes S-nitrosylation of Akt and blocks SOX2 (sex determining region Y-box 2) expression.	Gut・65・9・1416・1426・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
243	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	In situ thrombosis of small pulmonary arteries in pulmonary hypertension developing after chemotherapy for malignancy.	Pulm Med・2015・230846・230846・2015
244	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	In vitro study of the juxtaglomerular apparatus and its implications in the chronic kidney disease.	Hypertension・65・5・970・975・2015
245	館 正弘	形成外科学分野	In vivo corrosion behaviour of magnesium alloy in association with surrounding tissue response in rats.	Biomed Mater・11・2・25001・25001・2016
246	井樋 栄二	整形外科学分野	Increased Facet Fluid Predicts Dynamic Changes in the Dural Sac Size on Axial-Loaded MRI in Patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis.	AJNR Am J Neuroradiol・34・4・730・735・2016
247	井樋 栄二	整形外科学分野	Increasing Incidence of Degenerative Spinal Diseases in Japan during 25 Years: The Registration System of Spinal Surgery in Tohoku University Spine Society.	Tohoku J Exp Med・238・2・153・163・2016
248	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	Indications and outcomes of an endoscopic approach under laparotomy for the treatment of bilioenteric anastomotic strictures.	Pediatr Transplant・20・2・316・320・2016
249	井樋 栄二	整形外科学分野	Influence of living environments and working status on low back pain for survivors of the Great East Japan Earthquake.	J Orthop Sci・21・2・138・142・2016
250	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Inhibition of glycogen synthase kinase-3 beta induces apoptosis and mitotic catastrophe by disrupting centrosome regulation in cancer cells.	Sci Rep・5・13249・13249・2015
251	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Inhibition of glycogen synthase kinase-3 beta induces apoptosis and mitotic catastrophe by disrupting centrosome regulation in cancer cells.	Biochem Biophys Res Commun・5・13249・13249・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
252	齋藤 幹	小児歯科	Interaction between Fibronectin and $\beta$ 1 Integrin is Essential for Tooth Development	Plos One・10・4・e0121667・e0121667・2015
253	下瀬川 徹	消化器病態学分野	International Consensus Guidance Statement on the Management and Treatment of IgG4-Related Disease.	Arthritis Rheumatol・67・7・1688・1699・2015
254	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Intra-adrenal Aldosterone Secretion: Segmental Adrenal Venous Sampling for Localization.	Radiology・278・1・265・274・2016
255	笹野 公伸	病理診断学分野	Intracrine steroid production and mammalian target of rapamycin pathways in pulmonary lymphangioleiomyomatosis.	Hum Pathol・46・11・1685・1693・2015
256	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Intractable bleeding tendency due to acquired von Willebrand syndrome after Jarvik 2000 implant.	J Artif Organs・19・3・189・292・2016
257	杉野 繁一	手術部	Intraoperative auditory evoked potential recordings are more reliable at signal detection from different sensor sites on the forehead compared to bispectral index.	J Clin Monit Comput・2015
258	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Intraoperative vacuum-assisted closure following in situ graft replacement for an infected thoracic aortic graft.	J Thorac Cardiovasc Surg・150・3・e36・e38・2015
259	笹野 公伸	病理診断学分野	Intratumoral estrogen production and actions in luminal A type invasive lobular and ductal carcinomas.	Breast Cancer Res Treat・156・1・45・55・2016
260	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Intratumoral heterogeneity of steroidogenesis in aldosterone-producing adenoma revealed by intensive double- and triple-immunostaining for CYP11B2/B1 and CYP17.	Mol Cell Endocrinol・422・57・63・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
261	千葉 航	加齢歯科学分野	Involvement of IL-1 in the maintenance of masseter muscle activity and glucose homeostasis.	PLoS One・10・11・e0143635・e0143635・2015
262	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Is there a role for segmental adrenal venous sampling and adrenal sparing surgery in patients with primary aldosteronism?	Eur J Endocrinol・173・4・465・477・2015
263	杉村 宏一郎	循環器内科	Ischemic Lesion Formation in Solitary Tract Nuclei During Central Sleep Apnea With Heart Failure - Reply.	Circ J・80・4・1049・1049・2016
264	武藤達士	加齢研 機能画像医学研究分野	Isoflurane postconditioning with cardiac support promotes recovery from early brain injury in mice after severe subarachnoid hemorrhage	Life Sciences・153・35・40・2016
265	割田 仁	神経内科学分野	Isolated inclusion body myopathy caused by a multisystem proteinopathy-linked hnRNPA1 mutation	Neurol Genet・1・3・e23・e23・2015
266	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Japanese Clinical Guidelines for Endoscopic Treatment of Pancreatolithiasis.	Pancreas・44・7・1053・1064・2015
267	廣田 衛久	消化器内科	Japanese guidelines for the management of acute pancreatitis: Japanese Guidelines 2015.	J Hepatobiliary Pancreat Sci・22・6・405・432・2015
268	賀来 満夫	総合感染症学分野	Japanese nationwide surveillance in 2011 of antibacterial susceptibility patterns of clinical isolates from complicated urinary tract infection cases.	J Infect Chemother・21・9・623・633・2015
269	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Japanese phase I study of cabazitaxel in metastatic castration-resistant prostate cancer.	Int J Clin Oncol・20・5・1026・1034・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
270	中島 一郎	神経内科学分野	Japanese POEMS syndrome with Thalidomide (J-POST) Trial: study protocol for a phase II/III multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial.	BMJ Open・5・1・e007330・e007330・2015
271	笹野 公伸	病理診断学分野	KLF15 in breast cancer: a novel tumor suppressor?	Cell Oncol (Dordr)・38・3・227・235・2015
272	齊藤 弘樹	総合感染症科	Leptospirosis in the Tohoku Region: Re-emerging Infectious Disease	Tohoku Journal of Experimental Medicine・236・1・33・37・2015
273	館 正弘	形成外科学分野	Less Contribution of Mast Cells to the Progression of Renal Fibrosis in Rat Kidneys with Chronic Renal Failure.	Nephrology (Carlton)・2016
274	荒田 悠太郎	卒後研修センター	Life and mental health of medical students after the Great East Japan Earthquake.	The Tohoku Journal of Experimental Medicine・235・4・311・325・2015
275	下川 宏明	循環器内科	Light and Dark of Reactive Oxygen Species for Vascular Function: 2014 ASVB (Asian Society of Vascular Biology).	J Cardiovasc Pharmacol・65・5・412・418・2015
276	井樋 栄二	整形外科学分野	Local rhBMP-12 on an Absorbable Collagen Sponge as an Adjuvant Therapy for Rotator Cuff Repair-- A Phase 1, Randomized, Standard of Care Control, Multicenter Study: Part 1. Safety and Feasibility.	Am J Sports Med・43・8・1994・2004・2015
277	森 悦朗	高次機能障害学分野	Long-term donepezil use for dementia with Lewy bodies: results from an open-label extension of Phase III trial.	Alzheimers Res Ther・7・1・5・5・2015
278	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Long-term follow-up of 124 patients with polymyositis and dermatomyositis: Statistical analysis of prognostic factors.	Mod Rheumatol・26・1・115・120・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
279	仁尾 正紀	小児外科	Long-term outcomes of biliary atresia with splenic malformation.	J Pediatr Surg・50・12・2124・2127・2015
280	武田 賢	放射線治療学分野	Long-term results of chemoradiotherapy for stage II-III thoracic esophageal cancer in a single institution after 2000 -with a focus on comparison of three protocols.	BMC Cancer・15・813・813・2015
281	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	Long-term survival with growth hormone replacement after liver transplantation of pediatric nonalcoholic steatohepatitis complicating acquired hypopituitarism.	Tohoku J Exp Med・235・1・61・67・2015
282	森 悦朗	高次機能障害学分野	Loss of awareness of hyposmia is associated with mild cognitive impairment in Parkinson's disease.	Parkinsonism Relat Disord・22・74・79・2016
283	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Lower urinary pH is useful for predicting renovascular disorder onset in patients with diabetes.	BMJ Open Diabetes Res Care・3・1・e000097・e000097・2015
284	井樋 栄二	整形外科学分野	Lumbar artery injury from which the Adamkiewicz artery originated associated with lumbar spine injury: successfully treated by transcatheter arterial embolization.	Eur Spine J・25・1・124・128・2016
285	森 悦朗	高次機能障害学分野	Lumboperitoneal shunt surgery for idiopathic normal pressure hydrocephalus (SINPHONI-2): an open-label randomised trial.	Lancet Neurol・14・6・585・594・2015
286	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Lung Transplant for Pulmonary Arterial Hypertension After Arterial Switch Operation.	Ann Thorac Surg・100・6・e133・e134・2015
287	井樋 栄二	整形外科学分野	Magnetic resonance imaging classification of haemodialysis-related amyloidosis of the shoulder: risk factors and arthroscopic treatment.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
288	大内田 裕	肢体不自由学分野	Maladaptive change of body representation in the brain after damage to central or peripheral nervous system.	Neurosci Res・104・38・43・2016
289	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Management of three cardiogenic pulmonary edemas occurring in a patient scheduled for left ventricular assist device implantation: indicators for determining left ventricular assist device pump speed.	J Anesth・30・4・711・715・2016
290	館 正弘	形成外科学分野	Mast Cell Involvement in the Progression of Peritoneal Fibrosis in Rats with Chronic Renal Failure.	Nephrology (Carlton)・20・9・609・616・2015
291	山田 哲也	糖尿病代謝内科学分野	Maternal dietary imbalance between omega-6 and omega-3 polyunsaturated fatty acids impairs neocortical development via epoxy metabolites.	Stem Cells・34・2・470・482・2016
292	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Measurement of peripheral plasma 18-oxocortisol can discriminate unilateral adenoma from bilateral diseases in patients with primary aldosteronism.	Hypertension・65・5・1096・1102・2015
293	笹野 公伸	病理診断学分野	Methylation Status of Vitamin D Receptor Gene Promoter in Benign and Malignant Adrenal Tumors.	Int J Endocrinol・2015・375349・375349・2015
294	賀来 満夫	総合感染症学分野	Microbiological and molecular epidemiological analyses of community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus at a tertiary care hospital in Japan.	J Infect Chemother・21・10・729・736・2015
295	山崎 研志	皮膚科学分野	Milia En Plaque as a Distinct Follicular Hamartoma With Cystic Trichoepitheliomatous Features.	Am J Dermatopathol・38・3・212・217・2016
296	佐藤 尚明	産科	Model-based Estimation of Aortic and Mitral valves Opening and Closing Timings in Developing Human Fetuses	IEEE J Biomed Health Inform・20・1・240・248・2016



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
297	笹野 公伸	病理診断学分野	Modified autonomic regulation in mice mutated in the beta4 subunit of the lh/lh calcium channel.	Biochem Biophys Res Commun・461・2・200・205・2015
298	中島 一郎	神経内科学分野	MOG cell-based assay detects non-MS patients with inflammatory neurologic disease.	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm・2・3・e89・e89・2015
299	中澤 徹	眼科学分野	Molecular, anatomical and functional changes in the retinal ganglion cells after optic nerve crush in mice	Doc Ophthalmol・130・2・149・156・2015
300	大西 康	血液・免疫科	Monitoring of Hepatitis B Virus (HBV) DNA and Risk of HBV Reactivation in B-Cell Lymphoma: A Prospective Observational Study.	Clin Infect Dis・61・5・719・729・2015
301	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Monitoring Serum Levels of Sorafenib and Its N-Oxide Is Essential for Long-Term Sorafenib Treatment of Patients with Hepatocellular Carcinoma.	Tohoku J Exp Med・237・3・173・182・2015
302	中澤 徹	眼科学分野	MRI and retinal abnormalities in isolated optic neuritis with myelin oligodendrocyte glycoprotein and aquaporin-4 antibodies: a comparative study	J Neurol Neurosurg Psychiatry・87・4・446・448・2016
303	藤村 卓	皮膚科学分野	Multifocal BRAF(V600E)-Mutated Melanoma in situ on the Foot.	Case Rep Dermatol・7・3・322・327・2015
304	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Multinational Assessment of Accuracy of Equations for Predicting Risk of Kidney Failure: A Meta-analysis.	JAMA・315・2・164・174・2016
305	中島 一郎	神経内科学分野	Multiple sclerosis in Japan appears to be a milder disease compared to the UK.	J Neurol・262・4・831・836・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
306	神津 克也	循環器内科	Multiple sclerosis lesion in the medulla oblongata in a patient with takotsubo cardiomyopathy.	Int-J Cardiol・222・980-981・2016
307	藤島 史喜	病理部	Murine double minute 2 predicts response of advanced esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy.	BMC Cancer・15・208-208・2015
308	齋藤 幹	小児歯科	Mutant GDF5 enhances ameloblast differentiation via accelerated BMP2-induced Smad1/5/8 phosphorylation	Scientific reports・6・23670・23670・2016
309	中島 一郎	神経内科学分野	Myelin injury without astrocytopathy in neuroinflammatory disorders with MOG antibodies.	J Neurol Neurosurg Psychiatry・2015・312676-312676・2016
310	正宗 淳	消化器病態学分野	Nationwide Epidemiological Survey of Autoimmune Pancreatitis in Japan in 2011.	Pancreas・44・4・535-539・2015
311	賀来 満夫	総合感染症学分野	Nationwide surveillance of 6 otorhinolaryngological infectious diseases and antimicrobial susceptibility pattern in the isolated pathogens in Japan.	J Infect Chemother・21・7・483-491・2015
312	賀来 満夫	総合感染症学分野	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2010: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility.	J Infect Chemother・21・6・410-420・2015
313	杉野 繁一	手術部	Next-generation re-sequencing of genes involved in increased platelet reactivity in diabetic patients on acetylsalicylic acid.	Platelets・27・4・357-364・2016
314	井樋 栄二	整形外科学分野	Noninvasive assessment of the activity of the shoulder girdle muscles using ultrasound real-time tissue elastography.	J Electromyogr Kinesiol・25・5・723-730・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
315	佐藤 公雄	循環器内科	Novel biomarker for oxidative stress and cardiovascular diseases. In: Preedy VR, Patel VB(eds)	General Methods in Biomarker Research and Their Applications・405・438・2015
316	笹野 公伸	病理診断学分野	Nucleobindin 2 (NUCB2) in human endometrial carcinoma: a potent prognostic factor associated with cell proliferation and migration.	Endocr J・63・3・287・299・2016
317	遠藤 克哉	消化器内科	NUDT15 R139C causes thiopurine-induced early severe hair loss and leukopenia in Japanese patients with IBD.	Pharmacogenomics J・16・3・280・285・2016
318	山崎 研志	皮膚科学分野	Numerical and comparative three-dimensional structural analysis of peripheral nerve fibres in epidermis of patients with atopic dermatitis.	Br J Dermatol・174・1・191・194・2016
319	館 正弘	形成外科学分野	Olopatadine inhibits exocytosis in rat peritoneal mast cells by counteracting membrane surface deformation.	Cell Physiol Biochem・35・1・386・396・2015
320	森 悦朗	高次機能障害学分野	On the Utility of MIBG SPECT/CT in Evaluating Cardiac Sympathetic Dysfunction in Lewy Body Diseases.	PLoS One・11・4・e0152746・e0152746・2016
321	森 悦朗	高次機能障害学分野	One-year outcome in patients with idiopathic normal-pressure hydrocephalus: comparison of lumboperitoneal shunt to ventriculoperitoneal shunt.	J Neurosurg・1・10・2016
322	野田 一樹	循環器内科	Opposing roles of nitric oxide and rho-kinase in lipid metabolism, in mice.	Tohoku J Exp Med・235・3・171・183・2015
323	井樋 栄二	整形外科学分野	Outcome of Bankart repair in contact versus non-contact athletes	Orthop. Traumatol.: Surg. Res.・101・4・415・419・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
324	井樋 栄二	整形外科学分野	Outcome of Bankart repair in contact versus non-contact athletes [R?sultats de l'intervention de Bankart chez les sportifs de contact versus non contact]	Rev. Chir. Orthop. Traumatol.・101・4・415・419・2015
325	笹野 公伸	病理診断学分野	OX40 ligand expressed in glioblastoma modulates adaptive immunity depending on the microenvironment: a clue for successful immunotherapy.	Mol Cancer・14・41・41・2015
326	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Pancreatic stellate cells: A dynamic player of the intercellular communication in pancreatic cancer.	Clin Res Hepatol Gastroenterol・39・1・S98・S103・2015
327	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	Parallel processing of cognitive and physical demands in left and right prefrontal cortices during smartphone use while walking.	BMC Neurosci.・17・9・9・2016
328	森 悦朗	高次機能障害学分野	Pareidolia in Parkinson's disease without dementia: A positron emission tomography study.	Parkinsonism Relat Disord・21・6・603・609・2015
329	笹野 公伸	病理診断学分野	Pathology diagnosis of pancreatic neuroendocrine tumors.	J Hepatobiliary Pancreat Sci・22・8・586・593・2015
330	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	Patient-reported disability in the general Japanese population was associated with medical care visits for low back pain, regardless of pain intensity.	J Orthop Sci.・20・4・742・749・2015
331	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Periodontitis-associated septic pulmonary embolism caused by Actinomyces species identified by anaerobic culture of bronchoalveolar lavage fluid: a case report.	BMC Infect Dis・15・552・552・2015
332	杉野 繁一	手術部	Peripartum Anesthetic Management and Genomic Analysis of Rare Variants in a Patient with Familial Pulmonary Fibrosis.	A A Case Rep・5・10・169・172・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
333	大田 英揮	放射線部	Peritumoral apparent diffusion coefficients for prediction of lymphovascular invasion in clinically node-negative invasive breast cancer.	Eur Radiol・26・2・331・339・2016
334	笹野 公伸	病理診断学分野	Personalization of loco-regional care for primary breast cancer patients (part 1).	Future Oncol・11・9・1297・1300・2015
335	笹野 公伸	病理診断学分野	Personalization of loco-regional care for primary breast cancer patients (part 2).	Future Oncol・11・9・1301・1305・2015
336	齋藤 幹	小児歯科	Plakophilin-1, a novel Wnt signaling regulator, is critical for tooth development and ameloblast differentiation.	Plos One・11・3・e0152206・e0152206・2016
337	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Poly-2-methoxyethylacrylate-coated cardiopulmonary bypass circuit can reduce transfusion of platelet products compared to heparin-coated circuit during aortic arch surgery.	J Artif Organs・19・3・233・240・2016
338	橋本 潤一郎	腎・高血圧・内分泌学分野	Posterior reversible encephalopathy syndrome treated with renin-angiotensin system blockade	J Neurol Sci・355・1-2・219・221・2015
339	田中 拓	小児外科	Postnatal management of prenatally biliary cystic malformation.	J Pediatr Surg・50・4・507・510・2015
340	井樋 栄二	整形外科学分野	Potential risk of excising the femoral insertion of the popliteus tendon during primary total knee arthroplasty: a biometric study.	J Orthop Sci・20・6・1030・1035・2015
341	笹野 公伸	病理診断学分野	Practical approaches for evaluating adrenal toxicity in nonclinical safety assessment.	J Toxicol Pathol・28・3・125・132・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
342	笹野 公伸	病理診断学分野	Pre-B Lymphocyte Protein 3 (VPREB3) Expression in the Adrenal Cortex: Precedent for non-Immunological Roles in Normal and Neoplastic Human Tissues.	Endocr Pathol・26・2・119・128・2015
343	笹野 公伸	病理診断学分野	Precise preoperative localization of prostate cancer employing 12-core needle biopsy with a tissue-marking method for effective surgical strategy.	Tohoku J Exp Med・236・1・55・61・2015
344	井樋 栄二	整形外科学分野	Predicting failures of suture anchors used for rotator cuff repair: a CT-based 3-dimensional finite element analysis.	Biomed Mater Eng・25・4・371・380・2015
345	渡邊 みか	病理部	Predictive diagnosis of the risk of breast cancer recurrence after surgery by single-particle quantum dot imaging.	Sci Rep・5・14322・14322・2015
346	井樋 栄二	整形外科学分野	Preface	Normal and Pathological Anat. of the Shoulder・vii・viii・2015
347	中島 一郎	神経内科学分野	Pregnancy outcomes in aquaporin-4-positive neuromyelitis optica spectrum disorder.	Neurology・86・1・79・87・2015
348	中島 一郎	神経内科学分野	Pregnancy-related relapse risk factors in women with anti-AQP4 antibody positivity and neuromyelitis optica spectrum disorder.	Mult Scler・2015
349	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Pretreatment Screening for Hepatitis B Virus Infection in Patients with Systemic Lupus Erythematosus	Tohoku J. Exp. Med.,2015・2015・237・9・15・2015
350	井樋 栄二	整形外科学分野	Preventing effects of joint contracture by high molecular weight hyaluronan injections in a rat immobilized knee model.	Int J Clin Exp Pathol・8・4・3426・3440・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
351	笹野 公伸	病理診断学分野	Progesterone Receptor Isoforms A and B in Pancreatic Neuroendocrine Tumor.	Neuroendocrinology・101・4・309・320・2015
352	渡邊 みか	病理部	Prognostic factors of craniopharyngioma with special reference to autocrine/paracrine signaling: underestimated implication of growth hormone receptor.	Acta Neurochir (Wien)・157・10・1731・1740・2015
353	山内 毅	循環器内科	Prognostic Impact of Anemia in Patients With Chronic Heart Failure- With Special Reference to Clinical Background: Report From the CHART-2 Study.	Circ J・79・9・1984・1993・2015
354	三浦 正暢	循環器内科	Prognostic Impact of Diabetes Mellitus in Chronic Heart Failure According to Presence of Ischemic Heart Disease - With Special Reference to Nephropathy.	Circ J・79・8・1764・1772・2015
355	山内 毅	循環器内科	Prognostic Impact of New-Onset Atrial Fibrillation in Patients With Chronic Heart Failure - A Report From the CHART-2 Study.	Circ J・80・1・157・167・2016
356	笹野 公伸	病理診断学分野	Prognostic significance of proline, glutamic acid, leucine rich protein 1 (PELP1) in triple-negative breast cancer: a retrospective study on 129 cases.	BMC Cancer・15・699・699・2015
357	笹野 公伸	病理診断学分野	Prognostic significance of tumor-infiltrating CD8+ and FOXP3+ lymphocytes in residual tumors and alterations in these parameters after neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer: a retrospective multicenter study.	Breast Cancer Res・17・124・124・2015
358	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Prognostic significance of tumor-infiltrating CD8+and FOXP3+lymphocytes in residual tumors and alterations in these parameters after neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer.	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY・33・15 S・2015
359	笹野 公伸	病理診断学分野	PROGRESS IN PRIMARY ALDOSTERONISM: Is there a role for segmental adrenal venous sampling and adrenal sparing surgery in patients with primary aldosteronism?	Eur J Endocrinol・173・4・465・477・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
360	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	Prominent hyperplasia of renin-producing juxtaglomerular apparatus after chronic and complete blockade of the renin angiotensin system in adult IgA nephropathy	CEN Case Rep・4・2・228・232・2015
361	館 正弘	形成外科学分野	Promotion of acute-phase skin wound healing by <i>Pseudomonas aeruginosa</i> C - HSL.	Int Wound J・2015
362	小池 智幸	消化器内科	Prospective analysis of risk for bleeding after endoscopic biopsy without cessation of antithrombotics in Japan.	Dig Endosc・27・4・458・464・2015
363	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Prosthetic vascular graft infection through a median sternotomy: a multicentre review dagger.	Interact Cardiovasc Thorac Surg・20・6・701・706・2015
364	藤村 卓	皮膚科学分野	Psoriasiform Drug Eruption Caused by Abatacept: Immunohistochemical Investigation of STAT Signaling.	Case Rep Dermatol・7・2・166・170・2015
365	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Pulsatility During Left Ventricular Assist Device Treatment.	Circ J・79・9・1895・1896・2015
366	井樋 栄二	整形外科科学分野	Quantitative assessment of rotator cuff muscle elasticity: Reliability and feasibility of shear wave elastography.	J Biomech・48・14・3853・3858・2015
367	井樋 栄二	整形外科科学分野	Quantitative in vivo biocompatibility of new ultralow-nickel cobalt-chromium-molybdenum alloys.	J Orthop Res・34・9・1505・1513・2016
368	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Radiation Therapy Is a Reasonable Option for Improving the Prognosis in Hepatocellular Carcinoma.	Tohoku J Exp Med・237・4・249・257・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
369	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	Rare variant discovery by deep whole-genome sequencing of 1,070 Japanese individuals	Nature Communications・6・8018・8018・2015
370	大田 英揮	放射線部	Re: MRI findings of radiation-induced myocardial damage in patients with oesophageal cancer. A reply.	Clin Radiol・70・6・677・678・2015
371	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Recent development of optical coherence tomography for preoperative diagnosis of esophageal malignancies.	World J Gastrointest Endosc・7・9・872・880・2015
372	藤村 卓	皮膚科学分野	Receptor Activator of NF- $\kappa$ B Ligand Promotes the Production of CCL17 from RANK+ M2 Macrophages.	J Invest Dermatol・135・11・2884・2887・2015
373	笹野 公伸	病理診断学分野	Recommendations for description and validation of antibodies for research use.	J Steroid Biochem Mol Biol・156・40・42・2016
374	渡邊 みか	病理部	Recurrent cerebral infarction synchronous with menorrhagia caused by endometrial stromal sarcoma.	J Neurol Sci・358・1-2・509・511・2015
375	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Reduced Uterine Perfusion Pressure (RUPP) Model of Preeclampsia in Mice.	PLoS One・11・5・e0155426・e0155426・2016
376	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Reflux esophagitis triggered after Helicobacter pylori eradication: a noteworthy demerit of eradication therapy among the Japanese?	Front Microbiol・6・566・566・2015
377	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	ReGISTry Study of High Risk GIST Patients After Complete Resection: The adjuvant therapy and pathological diagnosis in Japan.	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY・33・15・10533・10533・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
378	森 悦朗	高次機能障害学分野	Relationship between Dementia Severity and Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia in Dementia with Lewy Bodies and Alzheimer's Disease Patients.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra・5・2・244・252・2015
379	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Relationship between low blood pressure and renal/cardiovascular outcomes in Japanese patients with chronic kidney disease under nephrologist care: the Gonryo study.	Clin Exp Nephrol・19・5・878・886・2015
380	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Relationship of ocular microcirculation, measured by laser speckle flowgraphy, and silent brain infarction in primary aldosteronism.	PLoS One・10・2・e0117452・e0117452・2015
381	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	Relationship of type of work with health-related quality of life.	Qual Life Res・24・12・2927・2932・2015
382	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Renal Resistive Index Predicts Postoperative Blood Pressure Outcome in Primary Aldosteronism.	Hypertension・67・3・654・660・2016
383	笹野 公伸	病理診断学分野	Reply to comments to "Letter to the Editor: comment on Azmahani et al. steroidogenic enzymes, their related transcription factors and nuclear receptors in human sebaceous glands under normal and pathological conditions".	J Steroid Biochem Mol Biol・155・Pt A・178・180・2016
384	森 悦朗	高次機能障害学分野	Results of Prospective Cohort Study on Symptomatic Cerebrovascular Occlusive Disease Showing Mild Hemodynamic Compromise [Japanese Extracranial-Intracranial Bypass Trial (JET)-2 Study].	Neurol Med Chir (Tokyo)・55・6・460・468・2015
385	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Retrospective analysis of 95 patients with large vessel vasculitis: a single center experience.	Int J Rheum Dis・19・1・87・94・2016
386	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Retrospective analysis of 95 patients with large vessel vasculitis: a single center experience	Int J Rheum Dis・19・1・87・94・2016

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
387	山崎 研志	皮膚科学分野	Retrospective evaluation of conservative treatment for 140 ingrown toenails with a novel taping procedure.	Acta Derm Venereol・95・7・822・825・2015
388	丹田奈緒子	予防歯科	Review: Oral malodorous gases and oral microbiota:From halitosis to carcinogenesis.	J Oral Biosci・57・4・175・178・2015
389	下川 宏明	循環器内科	RhoA/Rho-Kinase in the Cardiovascular System	Circ Res・118・2・352・366・2016
390	Ellawindy Alia	循環器内科	Rho-Kinase Inhibition During Early Cardiac Development Causes Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy in Mice.	Arterioscler Thromb Vasc Biol・35・10・2172・2184・2015
391	新妻 邦泰	神経外科学分野	Risk factors for meningitis after craniotomy in patients with subarachnoid hemorrhage due to anterior circulation aneurysms rupture.	Clin Neurol Neurosurg・139・302・306・2015
392	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Risk Factors for Upper GI Damage in Low-Dose Aspirin Users and the Interaction Between H. pylori Infection and Low-Dose Aspirin Use.	Curr Pharm Des・21・35・5056・5065・2015
393	井樋 栄二	整形外科学分野	RUNX2 EXPRESSION IS REGULATED BY METHYLATION STATUS OF SPECIFIC CPG SITES IN THE P1 PROMOTER AND CORRELATES WITH MMP13 EXPRESSION IN HUMAN OSTEOARTHRITIC CHONDROCYTES	OSTEOARTHRITIS AND CARTILAGE・23・2・A192・A192・2015
394	新妻 邦泰	神経外科学分野	Ruptured Cerebral Microaneurysm Diagnosed by 3-Dimensional Fast Spin-Echo T1 Imaging with Variable Flip Angles.	J Stroke Cerebrovasc Dis・24・8・e231・e235・2015
395	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Safety and efficacy of LCZ696, a first-in-class angiotensin receptor neprilysin inhibitor, in Japanese patients with hypertension and renal dysfunction.	Hypertens Res・38・4・269・275・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
396	森 悦朗	高次機能障害学分野	Safety and Tolerability of Desmoteplase Within 3 to 9 Hours After Symptoms Onset in Japanese Patients With Ischemic Stroke.	Stroke・46・9・2549・2554・2015
397	館 正弘	形成外科学分野	Salicylate inhibits thrombopoiesis in rat megakaryocytes by changing the membrane micro-architecture.	Cell Physiol Biochem・35・6・2371・2382・2015
398	井樋 栄二	整形外科学分野	Schwann cell transplantation for spinal cord injury repair: its significant therapeutic potential and prospectus.	Rev Neurosci・26・2・121・128・2015
399	中島 一郎	神経内科学分野	Severely exacerbated neuromyelitis optica rat model with extensive astrocytopathy by high affinity anti-aquaporin-4 monoclonal antibody.	Acta Neuropathol Commun・3・1・82・82・2015
400	末永華子	予防歯科	Shape Optimization for Additive Manufacturing of Removable Partial Dentures - A New Paradigm for Prosthetic CAD/CAM.	PLoS One・10・7・e0132552・e0132552・2015
401	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Shifting hepatitis B virus genotypes of acute hepatitis B patients in northeast Japan.	J Med Virol・88・1・69・78・2016
402	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Significant biomarkers for the management of hepatocellular carcinoma.	Clin J Gastroenterol・8・3・109・115・2015
403	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Significant roles of regulatory T cells and myeloid derived suppressor cells in hepatitis B virus persistent infection and hepatitis B virus-related HCCs.	Int J Mol Sci・16・2・3307・3322・2015
404	笹野 公伸	病理診断学分野	Sinonasal yolk sac (Endodermal sinus) tumor in an adult female - A case report and review of the literature.	APMIS・123・9・810・814・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
405	森 悦朗	高次機能障害学分野	Sleep disturbances are key symptoms of very early stage Alzheimer disease with behavioral and psychological symptoms: a Japan multi-center cross-sectional study (J-BIRD).	Int J Geriatr Psychiatry・2016
406	藤島 史喜	病理部	Somatic alteration and depleted nuclear expression of BAP1 in human esophageal squamous cell carcinoma.	Cancer Sci・106・9・1118・1129・2015
407	渡邊 みか	病理部	Somatic BRAF c.1799T>A p.V600E Mosaicism syndrome characterized by a linear syringocystadenoma papilliferum, anaplastic astrocytoma, and ocular abnormalities.	Am J Med Genet A・170・1・189・194・2016
408	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Spontaneous rupture of a renal angiomyolipoma at 25 weeks of pregnancy treated with transarterial embolization: A case report and review of the literature.	Int J Urol・22・7・710・712・2015
409	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Stabilization of postprandial blood glucose fluctuations by addition of glucagon like polypeptide-analog administration to intensive insulin therapy.	J Diabetes Investig・6・4・436・442・2015
410	阿部 倫明	総合地域医療教育支援部	Standard method for ultrasound evaluation of renal arterial lesions	Journal of Medical Ultrasonics・43・1・145・162・2016
411	南 達郎	循環器内科	Statins up-regulate SmgGDS through $\beta$ 1-integrin/Akt1 pathway in endothelial cells.	Cardiovasc Res・109・1・151・161・2016
412	中島 一郎	神経内科学分野	Status of diagnostic approaches to AQP4-IgG seronegative NMO and NMO/MS overlap syndromes.	J Neurol・263・1・140・149・2016
413	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	Study protocol of the TRICOLORE trial: a randomized phase III study of oxaliplatin-based chemotherapy versus combination chemotherapy with S-1, irinotecan, and bevacizumab as first-line therapy for metastatic colorectal cancer.	BMC Cancer・15・626・626・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
414	山崎 研志	皮膚科学分野	Successful adalimumab treatment of a psoriasis vulgaris patient with hemodialysis for renal failure: A case report and a review of the previous reports on biologic treatments for psoriasis patients with hemodialysis for renal failure.	J Dermatol・42・7・727・730・2015
415	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Successful multi-target therapy using corticosteroid, tacrolimus, cyclophosphamide, and rituximab for rapidly progressive interstitial lung disease in a patient with clinically amyopathic dermatomyositis.	Mod Rheumatol・26・3・465・466・2016
416	藤原 亨	血液・免疫科	Successful treatment of acute promyelocytic leukemia with a t(X;17)(p11.4;q21) and BCOR-RARA fusion gene.	Cancer Genet・208・4・162・163・2015
417	山崎 研志	皮膚科学分野	Suppression of Propionibacterium acnes-Induced Dermatitis by a Traditional Japanese Medicine, Jumihaidokuto, Modifying Macrophage Functions.	Evid Based Complement Alternat Med・2015・439258・439258・2015
418	館 正弘	形成外科学分野	Suppressive effects of diltiazem and verapamil on delayed rectifier K(+)-channel currents in murine thymocytes.	Pharmacol Rep・67・5・959・964・2015
419	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Surgical removal of calcified amorphous tumor localized to mitral valve leaflet without mitral annular calcification.	Surg Case Rep・1・1・39・39・2015
420	井樋 栄二	整形外科科学分野	Surgical Repair Did Not Improve Functional Outcomes More Than Conservative Treatment for Degenerative Rotator Cuff Tears.	J Bone Joint Surg Am・98・4・314・314・2016
421	笹野 公伸	病理診断学分野	Surgical resection and chemoradiotherapy for metachronous pulmonary metastasis of basaloid squamous cell carcinoma of the oesophagus.	Int J Surg Case Rep・17・151・154・2015
422	藤井 博司	血液・免疫病学分野	Synovitis in a Patient with IgG4-related Disease.	Intern Med・54・11・1427・1432・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
423	杉野 繁一	手術部	TACR1 gene polymorphism and sex differences in postoperative nausea and vomiting.	Anaesthesia・70・10・1148・1159・2015
424	正宗 淳	消化器病態学分野	Targeted Next-Generation Sequencing Effectively Analyzed the Cystic Fibrosis Transmembrane Conductance Regulator Gene in Pancreatitis	Dig. Dis. Sci.・60・5・1297・1307・2015
425	新妻 邦泰	神経外科学分野	Temporal profile of the vascular anatomy evaluated by 9.4-tesla magnetic resonance angiography and histological analysis in mice with the R4859K mutation of RNF213, the susceptibility gene for moyamoya disease.	Brain Res・1624・497・505・2015
426	牛込 亮一	循環器内科	Temporal trends in clinical characteristics, management and prognosis of patients with symptomatic heart failure in Japan -- report from the CHART Studies.	Circ J・79・11・2396・2407・2015
427	海野 倫明	消化器外科学分野	The co-transplantation of bone marrow derived mesenchymal stem cells reduced inflammation in intramuscular islet transplantation.	PLoS One・10・2・e0117561・e0117561・2015
428	齋藤 幹	小児歯科	The enamel knot-like structure is eternally maintained in the apical bud of postnatal mouse incisors.	Archives of Oral Biology・60・8・1122・1130・2015
429	伊藤 健太	循環器内科	The Future of Non-Invasive Angiogenic Therapy Using Acoustic Waves.	Circ J・79・9・1906・1907・2015
430	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	The impact of preoperative identification of the Adamkiewicz artery on descending and thoracoabdominal aortic repair.	J Thorac Cardiovasc Surg・151・1・122・128・2016
431	森 悦朗	高次機能障害学分野	The Japan Statin Treatment Against Recurrent Stroke (J-STARS): A Multicenter, Randomized, Open-label, Parallel-group Study.	EBioMedicine・2・9・1071・1078・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
432	森 悦朗	高次機能障害学分野	The Pareidolia Test: A Simple Neuropsychological Test Measuring Visual Hallucination-Like Illusions.	PLoS One・11・5・e0154713・e0154713・2016
433	藤村 卓	皮膚科学分野	The possible interaction between periostin expressed by cancer stroma and tumor-associated macrophages in developing mycosis fungoides.	Exp Dermatol・25・2・107・112・2016
434	藤村 卓	皮膚科学分野	The Possible Interaction between Receptor Activator of Nuclear Factor Kappa-B Ligand Expressed by Extramammary Paget Cells and its Ligand on Dermal Macrophages.	J Invest Dermatol・135・10・2547・2550・2015
435	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	The prevalence and risk factors of obesity, hypertension, dyslipidemia, and diabetes mellitus before and after adult living donor liver transplantation.	Hepato Res・45・7・764・770・2015
436	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	The Reduction in Urinary Glutamate Excretion Is Responsible for Lowering Urinary pH in Pink Urine Syndrome.	Tohoku J Exp Med・239・2・103・110・2016
437	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	The Registry Report of Heart Transplantation in Japan (1999-2014).	Circ J・80・1・44・50・2016
438	井樋 栄二	整形外科学分野	The role of an octacalcium phosphate in the re-formation of infraspinatus tendon insertion.	J Shoulder Elbow Surg・24・7・e175・e184・2015
439	笹野 公伸	病理診断学分野	The Role of Androgen under Normal and Pathological Conditions in Sebaceous Glands: The Possibility of Target Therapy.	Curr Mol Pharmacol・2015
440	賀来 満夫	総合感染症学分野	The second nationwide surveillance of the antimicrobial susceptibility of Neisseria gonorrhoeae from male urethritis in Japan, 2012-2013.	J Infect Chemother・21・5・340・345・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
441	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	The strong relation between post-hemodialysis blood methylglyoxal levels and post-hemodialysis blood glucose concentration rise.	Clin Exp Nephrol・19・3・527・533・2015
442	玉原 亨	予防歯科	The Transcription Factor Bach2 Is Phosphorylated at Multiple Sites in Murine B Cells but a Single Site Prevents Its Nuclear Localization	J Biol Chem・291・4・1826・1840・2016
443	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2013: Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg・64・8・496・500・2016
444	新妻 邦泰	神経外科学分野	Transient middle cerebral artery occlusion in mice induces neuronal expression of RNF213, a susceptibility gene for moyamoya disease.	Brain Res・1630・50・55・2016
445	新妻 邦泰	神経外科学分野	Transplantation of Unique Subpopulation of Fibroblasts, Muse Cells, Ameliorates Experimental Stroke Possibly Via Robust Neuronal Differentiation.	Stem Cells・34・1・160・173・2016
446	武藤達士	加齢研 機能画像医学研究分野	Transpulmonary thermodilution-based management of neurogenic pulmonary edema after subarachnoid hemorrhage.	American Journal of Medical Science・350・5・415・419・2015
447	笹野 公伸	病理診断学分野	Tumor microenvironment in invasive lobular carcinoma: possible therapeutic targets.	Breast Cancer Res Treat・155・1・65・75・2016
448	中澤 徹	眼科学分野	Two percent ethylenediaminetetraacetic acid chelation treatment for band-shaped keratopathy, without blunt scratching after removal of the corneal epithelium.	Clin Ophthalmol・9・217・223・2015
449	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Ulcerative keratitis in patients with rheumatoid arthritis in the modern biologic era: a series of eight cases and literature review	Int J Rheum Dis・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
450	藤原 亨	血液・免疫科	Update on the biology of heme synthesis in erythroid cells.	Rinsho Ketsueki・56・2・119・127・2015
451	井樋 栄二	整形外科学分野	Upregulation of the receptor-interacting protein 3 expression and involvement in neural tissue damage after spinal cord injury in mice.	BMC Neurosci・16・62・62・2015
452	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Urinary angiotensinogen excretion is associated with blood pressure in obese young adults.	Clin Exp Hypertens・38・2・203・208・2016
453	新妻 邦泰	神経外科学分野	Use of Actuator-Driven Pulsed Water Jet in Brain and Spinal Cord Cavernous Malformations Resection.	Neurosurgery・11・3・394・403・2015
454	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Useful strategies to prevent severe stricture after endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal neoplasm.	World J Gastroenterol・21・23・7120・7133・2015
455	館 正弘	形成外科学分野	Usefulness of targeting lymphocyte Kv1.3-channels in the treatment of respiratory diseases.	Inflamm Res・64・10・753・765・2015
456	館脇 康子	加齢核医学科	Utility of diffusion tensor imaging parameters for diagnosis of hemimegalencephaly.	Neuroradiol J・28・6・628・633・2015
457	佐藤 尚明	産科	Vaginal LPS changed gene transcriptional regulation response to ischemic reperfusion and increased vulnerability of fetal brain hemorrhage	Biochem Biophys Res Commun・468・1-2・228・233・2015
458	下瀬川 徹	消化器病態学分野	Variants in pancreatic carboxypeptidase genes CPA2 and CPB1 are not associated with chronic pancreatitis.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol・309・8・G688・G694・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
459	森 悦朗	高次機能障害学分野	Writing Impairments in Japanese Patients with Mild Cognitive Impairment and with Mild Alzheimer's Disease.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra・5・3・309・319・2015

計 459

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	瀧 靖之	機能画像医学	“重症度と全身合併症に応じたくも膜下出血の遅発性脳虚血に対する血行動態モニタリングの有用性”	脳血管攣縮・31・89・90・2015
2	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	[Anastomotic Pseudoaneurysm after Aortic Root Replacement].	Kyobu Geka・68・8・591・595・2015
3	下瀬川 徹	消化器病態学分野	[Chronic pancreatitis is a risk factor of pancreatic cancer].	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi・112・8・1464・1473・2015
4	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	[Development of biomarkers for molecular target drugs].	Nihon Rinsho・73・8・1308・1312・2015
5	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	[Early Postoperative Outcomes and Evaluation of Hemodynamics after Mitral Valve Replacement with Epic Mitral Bioprosthesis].	Kyobu Geka・68・12・961・966・2015
6	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	[Preoperative Use of Tolvaptan in a Patient with Constrictive Pericarditis].	Kyobu Geka・69・2・121・125・2016
7	新妻 邦泰	神経外科学分野	[Preoperative Use of Tolvaptan in a Patient with Constrictive Pericarditis].	No Shinkei Geka・43・4・357・368・2015
8	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	「輸血療法及び血液製剤適正使用に関する周知度調査」の取り組み	日本輸血細胞治療学会誌・61・6・575・576・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
9	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	【胸部外科緊急手術のup to date】 弁膜症 大動脈基部仮性瘤	胸部外科・68・8・ 591・595・2015
10	中川 圭	肝・胆・膵外科	【消化器・一般外科手術のPearls & Tips-フ ンランク上の手術を達成する技と知恵】 胆 道 胆管切除+胆管空腸吻合	臨床外科・70・11・ 204・209・2015
11	下瀬川 徹	消化器病態学分野	【膵臓癌のリスクファクター】 慢性膵炎と膵 癌	日本消化器病学会 雑誌・112・8・1464・ 1473・2015
12	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	2012-2013年度合同研究班報告【ダイジェ スト版】 非心臓手術における合併心疾患 の評価と管理に関するガイドライン(2014年 改訂版)	日本心臓血管外科 学会雑誌・44・4・1・ 26・2015
13	中西 史	移植・再建・内視鏡外科	2度の肝切除術を施行した成人型シトルリ ン血症を背景とした肝細胞癌の1例	日本臨床外科学会 雑誌・77・1・154・ 160・2016
14	武田 賢	放射線治療学分野	3D-IGBTにおける独立線量計算の有効性 の検討	Japanese Journal of Radiology・34・10・ 10・2016
15	武田 賢	放射線治療学分野	Assessment of Myocardial Metabolic Disorder Associated with Mediastinal Radiotherapy-a pilot study-	Japanese Journal of Radiology・34・4・4・ 2016
16	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Epic mitral生体弁の術後早期成績とその 血行動態	胸部外科・68・12・ 961・966・2015
17	下瀬川 徹	消化器病態学分野	ERCP後膵炎ガイドライン2015	膵臓・30・4・541・ 584・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
18	武田 賢	放射線治療学分野	FDG-PET/CTでのMetabolic tumor volumeを用いた肺定位放射線治療に対する予後予測の検討	Japanese Journal of Radiology・34・9・9・2016
19	荒井 陽一	泌尿器科学分野	Intensity-modulated radiotherapy(IMRT)後のPSA failure 症例からみたハイリスク前立腺癌への治療戦略	泌尿器外科 第79回日本泌尿器科学会東部総会記録集・28・627・630・2015
20	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	Marfan症候群患者に対する心臓移植	移植・50・384・384・2015
21	荒田 悠太郎	卒後研修センター	Scienceの"Editors' Choice"定期配信によるリサーチマインド・俯瞰力・英語力養成	医学教育・46・200・200・2015
22	井樋 栄二	整形外科科学分野	Three-pin modified 'Harrington' procedureによる臼蓋再建を行った肝細胞癌転移の1例	東北整形災害外科学会雑誌・58・1・182・183・2015
23	森 悦朗	高次機能障害学分野	アルツハイマー病における改訂クリクソン尺度の簡易ADL尺度としての有用性について	新薬と臨床・65・1・62・67・2016
24	今井 啓道	形成外科学分野	顎裂部骨移植	PEPARS・104・39・51・2015
25	服部 佳功	加齢歯科学分野	欠損補綴を通じて思春期の咬合管理に関与した先天性部分無歯症の1症例	日本補綴歯科学会誌・8・1・102・105・2016
26	庄司 未樹	形成外科学分野	固有示指伸筋腱欠損例の長母指伸筋腱断裂に対し短橈側手根伸筋腱による再建を施行した1例	日本形成外科学会誌・35・19・23・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
27	佐々木 英之	小児外科	当科における心疾患合併新生児小児外科手術症例の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌・51・1・100・102・2015
28	今井 啓道	形成外科学分野	特集/鼻の美容外科 骨切り、骨削りによる鼻背形成	PEPARS・105・65・74・2015
29	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	ドセタキセル耐性食道扁平上皮癌に対するパクリタキセルの効果および安全性の検討	日本癌治療学会誌・50・3・851・851・2015
30	村上 任尚	加齢歯科学分野	中空型全部床義歯により上顎顎堤の高度吸収に対応した友床義歯補綴症例	日本補綴歯科学会誌・7・3・286・289・2015
31	荒井 陽一	泌尿器科学分野	パルスレーザージェットメス:原理開発から臨床試験まで	レーザー学会誌レーザー研究・44・3・165・168・2016
32	澁谷 暢人	形成外科学分野	腹部領域における陰圧閉鎖療法	PEPARS(別冊)・55・62・2015
33	服部 佳功	加齢歯科学分野	補綴装置や歯の延命に向けて、顎口腔の力はコントロールできるだろうか?	日本補綴歯科学会誌・7・4・351・356・2015
34	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	リンチ症候群におけるMLH1、MSH2の遺伝子変異と表現型についての検討 多施設共同研究「HNPCCの登録と遺伝子解析プロジェクト」	家族性腫瘍・15・2・A61・A61・2015
35	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	リンチ症候群患者における大腸癌の若年(50歳未満)発症リスク因子の検討 多施設共同研究「HNPCCの登録と遺伝子解析プロジェクト」	家族性腫瘍・15・2・A93・A93・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
36	井樋 栄二	整形外科学分野	リン酸オクタカルシウム/ゼラチン複合体の家兎脛骨骨欠損における骨置換促進能の検討	Clinical Calcium・25・5・747・747・2015
37	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	わが国の家族性腫瘍の診療 未来への提言 リンチ症候群に関する大腸癌研究会の活動と展望	家族性腫瘍・15・2・A35・A35・2015
38	荒田 悠太郎	卒後研修センター	医学科学生の外科志望に及ぼす卒前教育の影響の質的研究	医学教育・46・Suppl・153・153・2015
39	下瀬川 徹	消化器病態学分野	医療イノベーション創出ネットワークの現状と展望 新しいフェーズに入ったアカデミアのシーズ開発 拠点からの報告 東北発の医薬品・医療機器等開発拠点	臨床評価・43・Suppl.XXXV・39・42・2015
40	中川 圭	肝・胆・膵外科	印刷業職業性胆管癌に対する化学放射線療法と根治的肝切除の経験	日本消化器病学会雑誌・112・7・1341・1347・2015
41	菊池 雅彦	総合歯科診療部	臼歯中間欠損歯列における咀嚼時の咀嚼筋活動	日本顎咬合学会誌: 咬み合わせの科学・35・42371・31・37・2015
42	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	下肢人工関節置換術術後の転倒関連自己効力感は、術後のQOLに関連する	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine・52・55・62・2015
43	井樋 栄二	整形外科学分野	下垂足を呈した腰部脊柱管狭窄症・腰椎椎間板ヘルニアは発症からいつまで手術を行えば回復するか? 下垂足を呈した22例の検討	東北整形災害外科学会雑誌・58・1・193・194・2015
44	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	家系内集積を認めるBRCA1/2変異陰性乳がん・卵巣がん患者におけるOLA1胚細胞性変異解析	家族性腫瘍・15・2・58・58・2015



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
45	荒田 悠太郎	卒後研修センター	基礎研究医育成 文部科学省GPプログラムの検証	医学教育・46・Suppl・123・123・2015
46	荒井 陽一	泌尿器科学分野	去勢抵抗性前立腺癌に対する間欠的ドセタキセル療法	泌尿器外科・587・589・2015
47	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	虚血性重症心不全に対する治療戦略 CABG、左室形成、VAD、移植 虚血性重症心不全に対するVAD・移植治療 その現状と課題	日本冠疾患学会雑誌・Suppl・122・122・2015
48	藤島 史喜	病理部	胸部外科医に必要な最新の病理診断(第8回) 気胸の原因疾患	胸部外科・68・4・306・307・2015
49	藤島 史喜	病理部	胸部外科医に必要な最新の病理診断(第9回) 悪性中皮腫	胸部外科・68・5・360・361・2015
50	武田 賢	放射線治療学分野	胸部食道癌??期に対する根治的放射線治療成績-予後因子の検討-	Japanese Journal of Radiology・34・9・9・2016
51	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	胸部放射線照射後の虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術の経験と課題	日本冠疾患学会雑誌・Suppl・177・177・2015
52	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	胸腹部大動脈瘤手術の体外循環と脊髄保護法	日本人工臓器学会教育セミナー・27・30・2015
53	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	勤務医のページ がん専門医療従事者の養成と地域格差	宮城県医師会報・833・434・435・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	井樋 栄二	整形外科学分野	緊急手術を要した胸椎から仙骨にわたる広範囲の術後胸腰椎硬膜下膿瘍の1例	東北整形災害外科学会雑誌・58・1・196・196・2015
55	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	子宮体癌、横行結腸癌で発症したLynch症候群の1例	家族性腫瘍・15・2・58・58・2015
56	菊地 克子	皮膚科	治療に難渋した抗BP180型粘膜類天疱瘡の1例	臨床皮膚科・69・11・827・830・2015
57	菊池 雅彦	総合歯科診療部	実験的に咬合接触を除去した歯列における咀嚼時の咀嚼筋活動	日本補綴歯科学会誌・7・3・240・248・2015
58	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	若年Marfan症候群における大動脈基部手術の経験	日本小児循環器学会雑誌・31・Suppl.1・s1・171・2015
59	武田 賢	放射線治療学分野	手術不適応非小細胞肺癌?期に対する放射線治療成績-東北大学病院200例超の解析結果	Japanese Journal of Radiology・34・11・11・2016
60	武田 賢	放射線治療学分野	縦隔へ40Gy以上照射された根治的放射線治療後、異時性肺癌に対する定位放射線治療成績の検討	Japanese Journal of Radiology・34・9・9・2016
61	武田 賢	放射線治療学分野	縦隔へ照射既往のある異時性第二肺癌に対する定位放射線治療成績の検討	臨床放射線・60・4・556・563・2015
62	荒井 陽一	泌尿器科学分野	女性泌尿器科医師を取り巻く環境とキャリア形成における課題?男女共同参画委員会アンケート調査結果に基づいて?	日本泌尿器科学会雑誌・106・4・307・315・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
63	佐藤 智行	小児外科	小児胃軸捻転症に対する腹腔鏡下胃前方固定術についての検討	日本小児外科学会雑誌・4・787・792・2015
64	井樋 栄二	整形外科学分野	少年野球検診による障害予防効果の縦断的検討	JOSKAS・40・2・512・513・2015
65	藤原 亨	血液・免疫科	食道穿孔を合併したびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の2症例	臨床血液・56・4・436・436・2015
66	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	心臓移植後におけるタクロリムス徐放性製剤の使用経験	移植・50・総会臨時・382・382・2015
67	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	人工股関節置換術後の機能的脚長差が健康関連QOLに及ぼす影響?パス解析を用いた障害構造モデルの検討?	理学療法学・43・1・30・37・2016
68	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	人工心肺施行後の急性腎障害に関する後方視的検討	日本急性血液浄化学会雑誌・6・Suppl.・92・92・2015
69	井樋 栄二	整形外科学分野	人工膝関節全置換術の術中に発症した肺塞栓症の1例	東北膝関節研究会会誌・24・5・8・2015
70	井樋 栄二	整形外科学分野	成長期ソフトボール選手に対する検診の取り組み 初年度と次年度の比較検討	日本整形外科学スポーツ医学会雑誌・35・4・260・260・2015
71	井樋 栄二	整形外科学分野	成長期野球選手における肘内側障害 成長期野球選手における遠投練習の頻度と肩肘関節痛および超音波肘内側部異常所見との関係	日本整形外科学スポーツ医学会雑誌・35・4・316・316・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
72	井樋 栄二	整形外科学分野	脊柱後彎症に対する体幹深層筋群の筋力トレーニングを中心としたリハビリテーション訓練前後の歩行解析 介入の前後を比較した予備的研究	運動器リハビリテーション・26・2・249・249・2015
73	井樋 栄二	整形外科学分野	脊椎内視鏡下手術における3次元術前計画(3D-fusion)の有用性 硬膜管、神経根、黄色靭帯、椎間板、椎弓の3次元可視化の試み	東北整形災害外科学会雑誌・58・1・204・204・2015
74	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	切除不能進行再発大腸癌に対するregorafenibとTAS102の治療効果に関する後方視的検討	日本癌治療学会誌・50・3・2417・2417・2015
75	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	前立腺 前立腺がんのバイオマーカー探索 前立腺がんにおけるP53変異予測発現プロファイルの予後予測の有用性	日本癌治療学会誌・50・3・37・37・2015
76	武田 賢	放射線治療学分野	前立腺IMRT治療計画時におけるOARからみた線量処方決定因子の検討	日本放射線技術学会東北支部雑誌・25・177・177・2016
77	武田 賢	放射線治療学分野	前立腺癌74Gy照射の治療成績	Japanese Journal of Radiology・34・5・5・2016
78	武田 賢	放射線治療学分野	前立腺癌症例における画素値と解剖学的情報を用いるHybrid DIRの有効性の検討	日本放射線技術学会東北支部雑誌・25・138・138・2016
79	館 正弘	形成外科学分野	創傷治癒の新しい考え方	日本耳鼻咽喉科学会会報・118・6・794・795・2015
80	井樋 栄二	整形外科学分野	足趾MTP関節脱臼骨折に伴う足趾壊死	東日本整形災害外科学会雑誌・27・3・309・309・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
81	中川 圭	肝・胆・膵外科	続発性ヘモクロマトーシスを背景とした肝細胞癌門脈腫瘍栓再発に対し放射線治療が著効した1例(続報)	肝臓・56・4・150・156・2015
82	玉原 亨	予防歯科	単一タンパク質の徹底的リン酸化解析と機能特定 : 転写因子Bach2を例に	Journal of Japanese Biochemical Society・88・1・31・35・2016
83	末永華子	予防歯科	中咽頭癌放射線治療後の晩期口腔障害に対応した補綴症例	日補綴会誌・8・74・77・2016
84	井樋 栄二	整形外科学分野	中高年の脊柱変形障害に対する新しい運動療法、装具の開発	運動器リハビリテーション・26・2・243・243・2015
85	井樋 栄二	整形外科学分野	中高年脊柱後彎症の歩行解析	運動器リハビリテーション・26・2・248・248・2015
86	井樋 栄二	整形外科学分野	東日本大震災における運動器疾患の検討.	整形・災害外科・58・13・1757・1762・2015
87	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	東北大学病院における5大癌患者の終末期医療 DPCデータを用いた集計方法の確立	日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集・10・3・177・185・2015
88	武田 賢	放射線治療学分野	東北大学病院における喉頭癌T2症例の検討	Japanese Journal of Radiology・34・5・5・2016
89	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	東北大学病院腫瘍内科における神経内分泌癌への白金製剤+エトポシド併用療法の検討	日本癌治療学会誌・50・3・2559・2559・2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	当院における同種クリオプレシピテートの導入準備と運用状況	日本輸血細胞治療学会誌・61・6・574・575・2015
91	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	乳がんFEC100療法におけるホスアプレピタント注とアプレピタントカプセルの有効性と安全性の比較	医薬品相互作用研究・39・1・29・35・2015
92	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野	乳癌および甲状腺腫術後に胃癌を発症したCowden病の1例	家族性腫瘍・15・2・A95・A95・2015
93	高木 清司	病理検査学分野	乳癌微小環境における癌と脂肪細胞の相互作用に関するLCN2の役割	日本内分泌学会雑誌・91・1・373・373・2015
94	森 悦朗	高次機能障害学分野	反復性のパレイドリアをきたしたレビー小体型認知症患者の1例	神経心理学・31・2・136・143・2015
95	菊地 克子	皮膚科	皮膚原発Ewing肉腫/primitive neuroectodermal tumorの1例	臨床皮膚科・69・11・847・852・2015
96	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	臨床経験 収縮性心膜炎に対するtolvaptanの術前使用経験	胸部外科・69・2・121・125・2016
97	荒田 悠太郎	卒後研修センター	臨床実習後OSCEで身体診察による臨床推論力を測定できるか	医学教育・46・Suppl・124・124・2015
98	高木 清司	病理検査学分野	膵癌組織におけるCRH発現と生存予後の関連	日本癌治療学会誌・50・3・2523・2523・2015

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

計 98

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 「利益相反マネジメント推進体制」、「利益相反マネジメントの実施方法」	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年9回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の要点」「東北大学倫理指針に基づく倫理申請・審査について」等。	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、また多くの高度医療設備の下、将来の専門医・指導医資格の取得を前提とした高度な医療の習得を行っています。高度医療機関として稀少症例、難症例を経験するのみならず、関連病院とも連携し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成することが可能です。また大学院で学位を併行して取得することも可能であり、研究医として社会に貢献することも可能です。

当院では、平成 30 年度から予定している新専門医制度による専門医研修に向け、19 の全ての基本領域において専門研修プログラムを整備しています。新専門医制度に関しては、来年度初期臨床研修を開始する医師が対象となりますが、当院は全領域で基幹施設としてプログラムを整備する予定です。初期臨床研修終了後、当院の専門研修プログラムを修了すれば、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能です。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの関連病院にご協力いただき、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

2 研修の実績

研修医の人数	72.9 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療外来)	准教授	22 年	
下川 宏明	循環器内科	教授	37 年	
具 芳明	感染症内科	講師	19 年	
伊藤 貞嘉	腎臓・内分泌内科	教授	37 年	
張替 秀郎	血液内科	教授	30 年	
石井 智徳	リウマチ科	特任教授	28 年	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	29 年	
廣田 衛久	消化器内科	院内講師	22 年	
冲永 壮治	老年内科	准教授	25 年	
高山 真	漢方内科	准教授	20 年	
福土 審	心療内科	教授	33 年	



研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
玉田 勉	呼吸器内科	講師	23 年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授、科長	33 年	
海野 倫明	肝臓・胆のう・膵臓外科	教授	31 年	
海野 倫明	胃腸外科	教授	31 年	
亀井 尚	移植・食道・血管外科	准教授	25 年	
石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	准教授	29 年	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	26 年	
相澤 俊峰	整形外科	准教授	27 年	
館 正弘	形成外科	教授	31 年	
岡田 克典	呼吸器外科	教授	28 年	
山内 正憲	麻酔科	教授	26 年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	33 年	
伊藤 明宏	泌尿器科	准教授	26 年	
青木 正志	神経内科	教授	24 年	
齋藤 竜太	脳神経外科	助教	17 年	
松岡 洋夫	精神科	教授	38 年	
坂本 修	小児科	准教授、医局長	25 年	
和田 基	小児外科	准教授	23 年	
和田 基	小児腫瘍外科	准教授	23 年	
菊地 克子	皮膚科	講師	28 年	
丸山 和一	眼科	講師	18 年	
香取 幸夫	耳鼻科	教授	26 年	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	26 年	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	35 年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
神宮 啓一	放射線科 (放射線治療科)	教授	14 年	
高瀬 圭	放射線科 (放射線診断科)	教授	27 年	
瀧 靖之	放射線科 (加齢核医学科)	教授	17 年	
入野田 崇	救急科	講師	22 年	
渡辺 みか	病理診断科	准教授、副部長	26 年	
笹野 高嗣	歯科(口腔診断科)	教授	37 年	
城戸 幹太	歯科 (歯科麻酔疼痛管理科)	助教	21 年	
小関 建由	歯科(予防歯科)	教授	25 年	
小林 洋子	歯科(保存修復科)	助教	27 年	
奥山 弥生	歯科(咬合修復科)	助教	34 年	
佐々木啓一	歯科(咬合回復科)	教授	35 年	
根本 英二	歯科(歯周病科)	准教授	27 年	
菊池 雅彦	歯科 (総合歯科診療部)	教授	33 年	
遠藤 英昭	歯科 (感染予防対策診療部)	副部長、助教	37 年	
高橋 哲	歯科顎口腔外科	教授	33 年	
福本 敏	小児歯科	教授	22 年	
北浦 英樹	矯正歯科	准教授	25 年	
五十嵐 薫	矯正歯科 (咬合機能成育室)	教授	32 年	
五十嵐 薫	矯正歯科 (顎口腔機能治療部)	教授	32 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>平成27年4月～平成28年3月 期間中53回開催</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>期間中延べ 3, 194人</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>看護師長や副看護師長を対象に、看護管理者が人を育成しながら、組織運営に係わる資質向のため、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、職位別の教育プログラムを組んでいる。（看護マネジメントリフレクション研修、概念化スキル研修、コンピテンシー研修）</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>平成27年6月～平成28年2月 期間中11回開催</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>延べ 487人</p>

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 八重樫 伸生
管理担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 渡邊 サチ子

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	事項 規則第二十二條の三第二項に掲げる 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書	総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部 電子カルテ	診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	事項 規則第二十二條の三第三項に掲げる	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課及び医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室		

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報室
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	検討中
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	検討中
		監査委員会の設置状況	検討中
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	検討中
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課
		職員研修の実施状況	医事課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	検討中		
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 八重樫 伸生	
閲覧担当者氏名	総務課長 芳賀 昌史 ・ 医事課長 渡邊 サチ子	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要		
閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	② <input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内における安全管理に関する基本的な考え方</li><li>● 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項</li><li>● 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本関係</li><li>● 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>● 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>● 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>● 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>● その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/>有・無 )</p> <p>・ 開催状況： 年 1 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。</li><li>(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。</li><li>(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。</li><li>(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。</li><li>(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。</li><li>(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。</li><li>(7) その他医療の安全管理等に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について研修会 (新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会)</li><li>● 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習 (年 5 回)</li><li>● 医療安全管理全般に関する定期講演会 (年 2 回)</li><li>● その他医療安全管理に関する研修会 (随時)</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/>有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。</li><li>● 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。</li><li>● 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。</li></ul>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>● 委員会等の組織に関する基本的事項</li><li>● 職員研修に関する基本方針</li><li>● 発生状況の報告に関する基本方針</li><li>● 感染症発生時対応に関する基本方針</li><li>● 指針の閲覧に関する基本方針</li><li>● その他の必要な基本方針</li></ul>	
③ 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。</li><li>● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</li><li>● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。</li><li>● 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li></ul>	
④ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）</li><li>● 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するDVD研修会）</li><li>● 感染管理全般に関する定期講演会（年 7 回）</li><li>● その他感染管理に関する研修会（随時）</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 0 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修</li><li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修</li><li>・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修</li></ul></li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画の策定 (有・無)</li><li>・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務</li><li>医薬品の管理に関する業務</li><li>患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務</li><li>患者に対する与薬</li></ul></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 未承認等の医薬品の使用に関する情報については、薬剤師が処方や指示を確認した際、緊急採用申請時の申請書確認時、臨床研究に用いられる医薬品の管理を薬剤部に依頼された場合に把握している。これらの手順を医薬品安全管理手順書に明記するとともに、把握した未承認等の医薬品の情報及び処方状況を把握するシステムを構築し、医薬品安全管理室で一元管理する体制を整備している。</li><li>・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟 (月1回) 及び外来診療科 (2か月に1回) の巡視を実施している。</li><li>・ 医薬品安全管理室巡視を年2回行う予定である。</li><li>・ 医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知している。</li><li>・ 薬剤師が行った疑義紹介についてデータベースに登録し、必要に応じて、院内に対し医薬品の適正使用に関する改善を指導している。</li></ul></li></ul>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施している</li><li>○医療機器の有効性・安全性に関する研修</li><li>○医療機器の使用法に関する研修</li><li>○医療機器の保守点検に関する研修</li><li>○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する研修</li><li>○医療機器の使用に関しての法令に関する研修</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○始業点検・終業点検・日常点検・定期点検</li><li>○施設内部点検</li><li>○外部委託点検</li></ul> <p>上記保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録</li><li>② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○未承認医療機器の使用に関して、治験機器・臨床研究機器に関しては使用の状況を確認している</li><li>○添付文書等の管理</li><li>○医療機器関連情報の病院管理者への報告</li><li>○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発</li></ul>	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副院長が、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有 ( 1 名 ) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>緊急採用時に把握した適応外使用医薬品については、医薬品安全管理室に適応外使用評価部会を設置し、有効性と安全性について評価している。臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無 ( 有 ) 無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④ 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有 ) 無</p> <p>・規程の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・説明内容については原則として説明する事項</li><li>・説明者については原則として主治医が行うこと</li><li>・説明を受ける相手方は原則として患者本人が行うこと</li><li>・説明の方法についての事項</li><li>・説明の記録の方法</li></ul>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療録に必要な事項の記載があるか、記載内容に齟齬がないか等確認の上、各診療科において記載の質の向上がされるよう指導している。</li> <li>・なお、チェックシートを使用して、医師経過記録、入院診療計画書、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約の評価を実施している。</li> </ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（2）名  うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名  うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療にかかる安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他の医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること。</li> <li>(2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(5) 医療安全にかかる連絡調整に関すること。</li> <li>(6) 医療安全対策の推進に関すること。</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<p>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p>	

・ 規程の主な内容：

- ・ 『東北大学における人を対象とする医学系研究に関する標準業務手順書』及び『医薬品安全管理手順書』において、未承認医薬品を用いた臨床研究について手順を定めている。
- ・ 『東北大学病院製剤審査委員会内規』により院内製剤の採用に係る規定を制定している。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有 ·  無 )

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( 有  無 )

⑨ 監査委員会の設置状況

有  無

・ 監査委員会の開催状況：年 回

・ 活動の主な内容：

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 有  無 )

・ 委員名簿の公表の有無 ( 有  無 )

・ 委員の選定理由の公表の有無 ( 有  無 )

・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年291件（H27.10.1～H28.3.31分）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年73件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
  - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
  - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
  - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
  - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
  - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
  - (7) その他医療の安全管理等に関すること。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）  無
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）  無
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。  
必要に応じて、相談担当者からセンター長、副センター長、センター担当看護師長、医療安全管理者又は対応責任者と相談の上、適切に対処している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（  有・無 ）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（  有・無 ）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（  有・無 ）



⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

・医療安全研修、ブラッシュアップ研修、新規採用者オリエンテーションでの研修、医療安全講演会での警鐘事例研修等を実施している。

なお、e-learningの活用も行っている。

・必須項目で追加された研修のうち未実施の研修について、現在計画中であり、実施を予定している。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

実施していない。

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加を予定している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	② <input checked="" type="radio"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成27年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	② <input checked="" type="radio"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受信手続きについて掲載している。 また、併せて病院広報誌の刊行や市民公開講座などを定期的に行い、本院の様々な情報を地域の方柄に発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	② <input checked="" type="radio"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を構築している。	

(様式第8)

東北病医第305号  
平成28年9月7日

厚生労働大臣 塩崎恭久 殿

東北大学病院長  
八重樫伸生

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成28年4月1日付けで副病院長（医療安全担当）を配置している。  
規程は平成28年9月29日に施行を予定している。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品安全管理手順書について、平成28年8月4日医薬品安全管理室会議で承認し、平成28年8月18日医療安全推進委員会で承認しており、これに基づき実施している。  
規程は平成28年9月29日に施行を予定している。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

副病院長（診療担当）を配置している。  
規程は平成28年9月29日に施行を予定している。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

インフォームド・コンセントに関する内規について平成28年9月29日に施行を予定している。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

副病院長（診療担当）を配置している。  
規程は平成 28 年 9 月 29 日に施行を予定している。

6. 規則第 9 条の 23 第 1 項第 10 号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

- イ (1) 平成 28 年 4 月 1 日から実施している。
- (2) 従前から実施している。
- ロ イ 従前から実施している。
- ロ 従前から実施している。
- ハ 平成 28 年 4 月 1 日から実施している。
- (1) 従前から実施している。
- (2) 従前から実施している。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

病院内に内部通報窓口の設置を予定している。  
規程は平成 28 年 9 月 29 日に施行を予定している。  
職員への周知は平成 28 年 9 月 29 日に予定している。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

平成 28 年 7 月 28 日開催の医療安全推進委員会において実施項目を定め、順次実施している。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 3 月までに設置を予定している。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 3 月までに施行を予定している。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 3 月までに設置を予定している。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 3 月までに施行を予定している。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

現在委員を選任中であり、平成 29 年 3 月までに設置を予定している。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

平成 28 年 7 月 14 日開催の国公立大学附属病院医療安全セミナーにおいて、厚生労働省から、実施方法、年 1 回の報告の場について、今年度中に提示し、次年度から実施する旨の説明をいただいております。この提示を受けて実施を予定している。

15. 職員研修を実施するための予定措置

従前から実施している。

監査委員会から意見の表明があった場合における当該意見に関する事項に係る研修は、該当した場合に開催を予定している。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加を予定している。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（0）名、兼任（2）名
- うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（2）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
- うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

従前から配置している。